FIRE
REPORT
2025

福岡県
宗像地区消防本部

Firereport2025は、宗像地区消防本部の消防現勢及び2024年中の消防統計などを、広く紹介するために収録したものです。

なお、このFirereport2024の統計資料は原則として暦年をもって表していますが、予算その他との関係から会計年度で収録したものもあります。

令和7年8月

一目でわかる宗像消防

人　　口	面　　積	世　帯　数
165,772人	172.7k㎡	76,063世帯
署　　所	消防職員	平均年齢（消防職員）
2署2出張所 1分遣所	146人 うち女性職員4人 （再任用職員除く）	39.4歳月
防火対象物	危険物施設	消防水利
3,968棟	159施設	消火栓　1,745基 防火水槽　696基
出火件数	救急出動件数	消防団員
34件	8,222件	767人

目　　次

むなかたの消防

管内の概要	1
地域紹介	2
消防本部(署)の配置現況	4
組合・消防本部沿革	6
組合の組織	14
消防本部・消防署の組織	15
消防本部の事務分掌	17
消防署の事務分掌	19
消防相互応援協定の状況	21
消防本部の主なできごと	22

総　　務

職員の階級別定員および実員	25
職員の階級別任用、退職状況	25
職員の配置状況	25
職員の階級別年齢	26
職員の階級別勤続年数	27
職員の資格(講習)取得状況	28
職員の研修状況	29
消防大学校の教育状況	30
職員の表彰受賞状況	30
訓練・指導等の実施状況	31
職員の教養実施状況	31
消防力の状況	32
面積・人口および世帯数に対する常備消防力	33
消防団の現況	33
財政の状況	34
過去3年間における消防負担金状況	34
令和7年度宗像地区事務組合一般会計当初予算	35
令和5年度消防費決算額と一般会計決算額との比較	35
令和5年度消防費決算と消防費基準財政需要額	36

予　　防

防火対象物の現状	37
消防用設備等の設置状況	38
防火管理者を必要とする事業所の状況	39
防火対象物の予防査察状況	40
建築同意事務処理状況	41
中高層建築物(5階以上)の現状	42
工事整備対象設備等着工届事務処理状況法令に基づく届出処理状況	43
危険物施設の現況	44
危険物施設立入検査実施状況	44
危険物規制事務処理状況	45
宗像地区防災協会	46
宗像地区幼少年婦人防火委員会	47
防火団体構成表	48

車両・資器材等

現有車両の諸性能 49
消防車両等の配置状況 51
救助資機材の配置状況 53
消防水利の現況 53
救急資器材の配置状況 55

火　　災

令和6年中の火災概況 56
火災の状況 57
火災種別件数 58
火災種別損害額 58
市別出火件数 59
市別損害額 59
宗像市内の火災状況 60
福津市内の火災状況 61
月別出火件数及び損害状況 62
過去10年間の出火件数の推移 63
原因別出火件数 64
過去10年間の主な出火原因の推移 64
建物用途別出火件数 65
建物火災の出火原因 65
覚知別出火件数 66
曜日別出火概況 66
時間別出火概況 67
気象別出火件数 68
月別・市別出動車両・出動人員 69

救　　急

令和6年中の救急概況 70
過去10年間の救急出動件数及び人口の推移 71
過去10年間の3大事故種別（急病・交通事故・一般負傷）の出動件数の推移 72
管内総括表 73
市別総括表 74
救急自動車による現場到着所要時間別出動件数の状況 75
医療機関収容所要時間 76
曜日別出動件数 77
時間別出動件数 78
傷病程度別搬送人員 79
年齢別搬送人員 80
救急隊員が行った応急処置等の状況 81
急病にかかる疾病分類別搬送人員 82
応急手当普及啓発活動状況 83
消防隊による救急活動状況 84

救　　助

令和6年中の救助概況 85
管内総括表 86
主な救助活動 86
市別救助出動件数 87
月別救助出動件数 87

通 信 指 令

過去10年の119番通報件数 88

消　防　団

消防団の活動 89
消防団の組織 90
福岡県消防協会宗像地区連絡協議会の組織 92
消防団の定員および実員 92
消防団の出動状況 92
消防ポンプ車等の装備状況 92

管内の概要

宗像市日の里から玄界灘を望む

宗像地区は、福岡県北部に位置し、福岡市と北九州市という2つの政令指定都市の中間にあるという立地の良さと、東西に横断するJR鹿児島本線や国道3号線および国道495号線により二大都市への交通アクセスが充実し、住宅団地や大学、大型商業施設などが相次いで進出しました。これに伴い、急激な都市化が進み、生活環境や都市基盤が整備され、教育や文化、子育て支援などが充実し、人口も増加してきました。人口減少時代に突入している現在においても、人口を維持し続けています。

また、北東には四塚の峰が連なり、西は玄界灘に面し、白砂青松の地は玄海国定公園の一角をなしており、古墳や住居跡が点在し、玄界灘を中心に活躍した「宗像海人賊」によってさまざまな大陸文化がもたらされ、宗像大社、鎮国寺、宮地嶽神社をはじめとする国宝や重要文化財にも指定された神社、仏閣等も点在し、「古事記」や「万葉集」にも地名がみられるなど、古(いにしえ)から栄えたことを物語っています。

さらに、福岡県と宗像市、福津市は協力して「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議を設置して、世界遺産登録に向けて官民一体となった取り組みを推進し、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産登録の国内候補に選ばれ、平成28年1月28日に正式版推薦をフランス・パリのユネスコ世界遺産センターに提出し、受理されました。平成29年5月6日に、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について、イコモス(国際記念物遺跡会議)より、「記載」が適当(ただし、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮、宗像大社辺津宮、新原・奴山古墳群を除く)との勧告がなされました。さらに7月9日には、ユネスコの世界遺産委員会により、イコモスによって除外された残りの構成資産も世界文化遺産に登録されました。

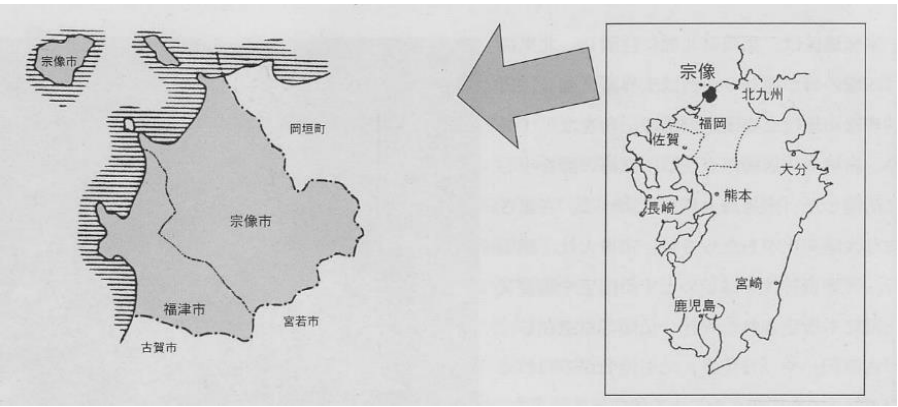
管内の面積・人口および世帯数

(令和6年12月31日)

構成市	面積(㎢)	人口(人)	世帯数(世帯)
宗像市	119.94	96,855	45,295
福津市	52.76	69,186	30,539
合計	172.7	166,041	75,834

※市町村合併の状況
平成15年4月1日宗像市と旧玄海町が合併。 新 「宗像市」となる。
平成17年1月24日旧福間町と旧津屋崎町が合併。「福津市」となる。
平成17年3月28日旧大島村が宗像市へ編入合併。現在の「宗像市」となる。

地 域 紹 介



宗　像　市　MUNAKATA

●人　口　/　96,855人
●世帯数　/　45,295世帯
●面　積　/　119.94km²
「ときを紡ぎ　躍動するまち」

海上神幸「みあれ祭」

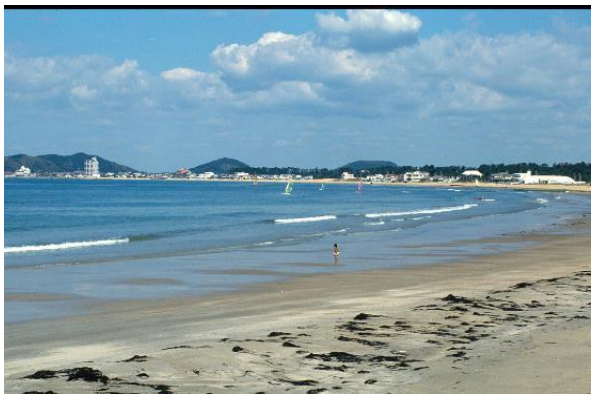
◆宗像市のプロフィール◆

福北大都市圏のほぼ真ん中に位置する宗像市。市の北西部は玄界灘に面し、白い砂浜の海岸線と樹齢200年以上の黒松並木が続くさつき松原は、玄海国定公園の中でも屈指の景観を誇ってます。市内には、日本最古の神社である宗像大社や弘法大師が開基した鎮国寺、装飾古墳の桜京古墳など多くの歴史的遺跡が点在しており、玄界灘の孤島沖ノ島では、純金製指環、青銅鏡、ペルシャカットグラスなど約12万点もの国宝や重要文化財が発掘され、別名「海の正倉院」と呼ばれており、この沖ノ島（宗像大社沖津宮）、小屋島、御門柱、天狗岩、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮及び宗像大社辺津宮が世界文化遺産に登録されました。

また、美しい自然や歴史的文化遺産に恵まれた良好な環境の中、市内には2つの大学が立地し、総合文化施設である宗像ユリックスやむなかたリサーチパークなど、学術都市としての特徴をもっています。

福　津　市　　FUKUTSU

●人　口　/　69,186人
●世帯数　/　30,539世帯
●面　積　/　52.76k㎡
「人も自然も未来につながる
まち、福津。」



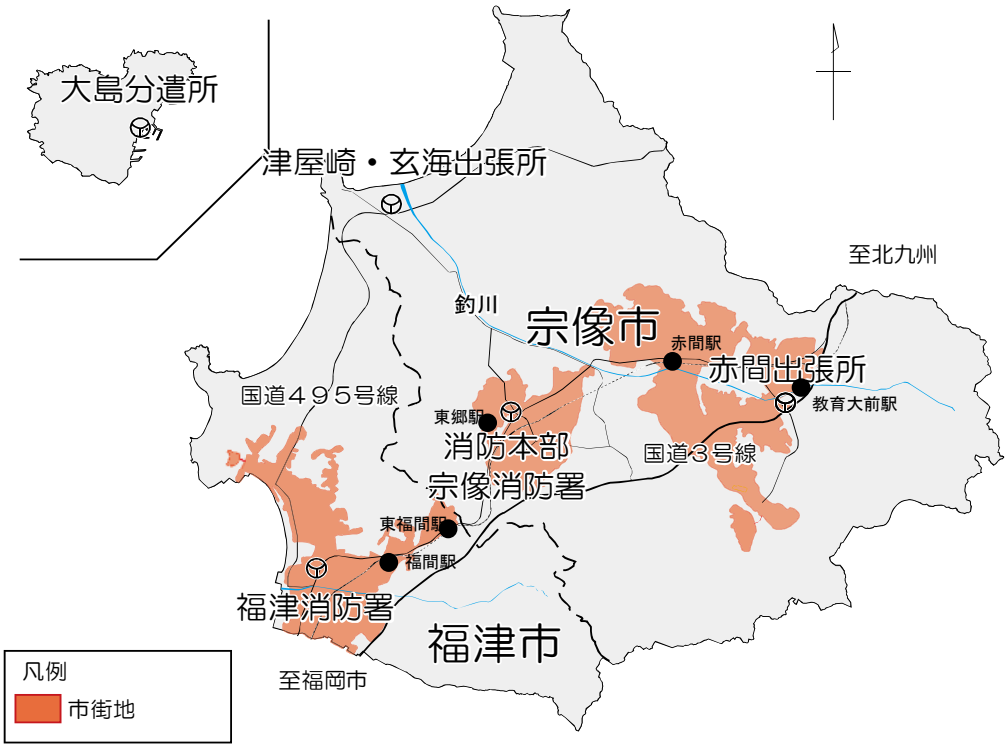
福 間 海 岸

◆福津市のプロフィール◆

福津市は、福岡県の北部で福岡市と北九州市の近隣に位置し、北東側は宗像市、南東側は宮若市、南側は古賀市に隣接しており、西側は玄界灘に面しています。また、東部を山、西部を海に囲まれ、特に海岸一帯と宮地嶽神社周辺の山林は、昭和31年に玄海国定公園に指定され、風光明媚な自然景観を形成しています。一方、交通網は、東西にJR鹿児島本線、国道3号線が延び、海岸線と併行して国道495線号が走っています。さらに、近くには九州自動車若宮インターチェンジ、古賀インターチェンジもあり、広域的な交通利便性にも富んでいます。このため、福津市は宮地嶽神社や津屋崎・福間海岸などを中心とした観光レクリエーションの場として、また、福岡・北九州両政令指定都市への通勤・通学の利便性を背景とした住宅地域として、さらには、新鮮な食料品の生産供給地域としての広域的な役割をもっています。また、福津市北部の勝浦・奴山に所在する新原(しんばる)・奴山(ぬやま)古墳群が世界文化遺産に登録されました。

消防本部（署）の配置現況

管 内 地 図



（令和7年4月1日現在）

区　　分	庁舎全景（所在地）	庁舎の構造	職員・車両	摘　　要
宗像地区消防本部		敷地面積 4,520.23㎡ 鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 2階建 建築面積 1,397.38㎡	職員数31人 （内再任用者3人） 車両台数 5台	TEL （0940） 36-2425 FAX （0940） 37-0011
宗像消防署	宗像市田熊5丁目1番3号	延べ面積 2,425.32㎡ （訓練塔等を含む）	職員数54人 （内再任用者2人） 車両台数 14台	

区分		庁舎全景（所在地）	庁舎の構造	職員・車両	摘要
宗像消防署	赤間出張所	 宗像市徳重2丁目8番1号	敷地面積 1,118.31㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 294.64㎡ 延べ面積 402.41㎡	職員数18人 車両台数 3台	TEL (0940) 32-6837 FAX (0940) 35-5195
	大島分遣所	 宗像市大島1650-2	敷地面積 645.00㎡ 鉄骨ブロック造 平屋建 延べ面積 160.46㎡ (倉庫等を含む)	職員数3人 車両台数 1台	TEL (0940) 72-2310 FAX (0940) 72-2546
福津消防署	福津消防署	 福津市西福間1丁目1番27号	敷地面積 1,029.66㎡ 鉄筋コンクリート造 2階建 建築面積 366.37㎡ 延べ面積 553.44㎡ (倉庫等を含む)	職員数37人 車両台数 6台	TEL (0940) 43-0521 FAX (0940) 43-7034
	津屋崎・玄海出張所	 宗像市牟田尻1860-41	敷地面積 1,165.00㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 214.55㎡ 延べ面積 307.28㎡	職員数8人 車両台数 2台	TEL (0940) 62-3815 FAX (0940) 62-1206

組合・消防本部沿革

（設立）

昭和48年11月15日宗像郡宗像町の日の里公団アパートにおいて、プロパンガスの爆発火災（死者2人、重軽傷者9人）が発生し、これに端を発し、直ちに宗像町議会で常備消防の必要性が議論され、これが郡内他町村へ波及し、広域消防設立への気運が高まった。

その後、数回にわたる郡内町村会議による協議の結果、宗像郡消防組合設立が決定され、昭和49年4月1日付をもって福岡県知事より消防組合設立の許可を受け、同年6月1日宗像郡消防本部、同年10月1日宗像消防署の設置を見るに至った。

（過　程）

昭和 49 年	4 月	1 日	初代組合長　由良半三郎氏就任
(1974)	6 月	1 日	消防本部(署)の設置に関する条例が組合議会において可決 初代消防長　宗實就任
	7 月	13 日	日本消防協会から広報車が寄贈される
	7 月	31 日	宗像郡消防本部(署)建設用地の確保及び福間分署建設用地の購入決定
	9 月	1 日	消防本部(署)の仮事務所を、宗像町大字田熊1193番地の1の旧宗像農業改良普及事務所跡地に開設
	10 月	1 日	消防業務の一部(予防事務及び火災原因調査)を開始
	10 月	1 日	消防吏員40人採用（内38人が福岡県消防学校初任教育に入校）
	10 月	25 日	大島分遣所建設用地の確保決定 （大島村と借地契約を締結：無償期間2025年3月31日まで）
	10 月	15 日	消防庁舎(3署所)の建設工事契約及び着工
昭和 50 年	3 月	17 日	日本損害保険協会及び日本自動車工業会から救急自動車各1台が寄贈される
(1975)	3 月	20 日	福岡県消防学校初任教育(38人)を修了し、実務に就いた
	3 月	31 日	消防庁舎(3署所)建築工事が完成
	4 月	1 日	消防庁舎(3署所)の開庁式及び消防業務が全面開始
	4 月	1 日	消防吏員11人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	1 日	宗像町サイレン遠隔操作開始
	10 月	16 日	救助工作隊結成
昭和 51 年	2 月	18 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車購入
(1976)	4 月	1 日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月	16 日	二代目組合長　天野敏樹氏就任
	7 月	31 日	救助工作車購入
	10 月	1 日	消防吏員1人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	11 月	15 日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される
	11 月	22 日	日本損害保険協会から救急自動車が寄贈される
	12 月	7 日	本部敷地内に車庫1棟を建設
昭和 52 年	3 月	1 日	広報紙「消防宗像」創刊号を発行
(1977)	3 月	31 日	救急無線取付工事完了
	6 月	6 日	人員搬送車を購入
	6 月	13 日	大島分遣所電動シャッター取付工事完了
	10 月	1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	29 日	化学消防ポンプ自動車を購入、本署に配備
昭和 53 年	3 月	24 日	(有)蒋田モータースから査察車が寄贈される
(1978)			
昭和 54 年	1 月	20 日	本署用地所有権移転登録完了
(1979)	10 月	1 日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	25 日	大島分遣所危険物屋内貯蔵所完成
	11 月	1 日	本署消防訓練塔着工
	12 月	11 日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈される
	12 月	20 日	本署少量危険物屋内貯蔵所完成

昭和 55 年	1 月	22 日	本署仮設車庫完成
(1980)	2 月	7 日	宗像オートから水防用資機材運搬車が寄贈される
	3 月	13 日	本署消防訓練塔完成
	8 月	10 日	本署自家発電設備設置
	8 月	31 日	本署通信指令室増改築
	12 月	1 日	高層ビルガス爆発防ぎょ訓練実施（宗像市日の里）
昭和 56 年	4 月	1 日	消防本部名称変更（宗像郡消防本部から宗像地区消防本部）
(1981)	4 月	1 日	消防吏員５人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月	30 日	本署､タイプ室及び給湯室増改築
	10 月	25 日	玄洋福岡ライオンズクラブから指令車寄贈、本署に配備
	11 月	15 日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈、本署に配備
昭和 57 年	2 月	15 日	二代目消防長　山内伸夫就任
(1982)	3 月	30 日	福間分署敷地拡張用地（301㎡）購入
	6 月	1 日	無線制ぎょサイレン（宗像、福間、津屋崎、玄海）設置
	6 月	21 日	福間分署車庫シャッター取付工事完了
	8 月	10 日	福間分署敷地拡張工事竣工
	8 月	20 日	消防無線空中線改修
昭和 58 年	9 月	30 日	福間分署訓練塔（鉄骨造）完成
(1983)	11 月	1 日	本署訓練塔（鉄骨ALC）完成
	11 月	4 日	事務連絡車購入、本部に配備
	12 月	27 日	本署屋内訓練場改修
	12 月	27 日	本署倉庫兼書庫（鉄骨プレハブ造）完成
昭和 59 年	4 月	1 日	消防吏員４人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1984)	5 月	31 日	査察車購入、本部に配備
	10 月	9 日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
	11 月	20 日	消防ポンプ自動車を購入､福間分署に配備
昭和 60 年	3 月	4 日	乗用車購入、本部に配備
(1985)	4 月	1 日	三代目消防長　坂本守正就任
	5 月	2 日	指揮車購入、福間分署に配備
	10 月	12 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福間分署に配備
	10 月	12 日	救助工作車購入、本署に配備
	10 月	22 日	福岡県共済農業協同組合連合会から救急自動車が寄贈され、福間分署に配備
昭和 61 年	4 月	1 日	消防吏員２人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1986)	5 月	7 日	調査車購入、本署に配備
	5 月	14 日	広報車購入、本部に配備
	5 月	24 日	人員搬送車購入、本署に配備
	6 月	16 日	福間分署改築工事竣工
	9 月	3 日	消防ポンプ自動車購入、本署に配備
	9 月	10 日	資機材運搬車購入、本署に配備
昭和 62 年	8 月	18 日	本部(署)庁舎増改築工事着工
(1987)			
昭和 63 年	3 月	15 日	本部(署)庁舎増改築工事竣工
(1988)	5 月	26 日	福岡県総合防災訓練実施（玄海町鐘崎）
	6 月	2 日	三代目組合長　的場重郎氏就任
	9 月	1 日	本署通信指令室の移転工事着工
平成 元 年	2 月	1 日	本署通信指令室の改築工事完了
(1989)	2 月	1 日	消防緊急情報システム運用開始
	3 月	17 日	救急自動車購入、赤間出張所に配備
	4 月	1 日	消防吏員７人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月	1 日	赤間出張所建設工事着工

	9 月 27 日	（社）日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車が寄贈され、赤間出張所に配備
	9 月 30 日	赤間出張所建設工事完了
	10 月 9 日	赤間出張所実働開始
平成 2 年	4 月 1 日	消防吏員８人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1990)	5 月 17 日	（社）日本損害保険協会から救急自動車が寄贈され、赤間出張所に配備
	7 月 20 日	神湊出張所建設工事着工
	11 月 20 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備
	12 月 20 日	神湊出張所建設工事完了
	12 月 26 日	神湊出張所実働開始
平成 3 年	3 月 27 日	玄洋福岡ライオンズクラブから救急自動車が寄贈される
(1991)	4 月 1 日	消防吏員３人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 30 日	福間分署仮眠室ベット改修工事完了
	7 月 25 日	大島分遣所軽量シャッター取付工事完了
	10 月 30 日	訓練塔(主塔)改修工事完了
平成 4 年	3 月 5 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、本署に配備
(1992)	3 月 31 日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(８１．８２㎡)
	4 月 1 日	消防吏員10人採用､福岡県消防学校初任教育に入校
	8 月 15 日	大島分遣所内装工事完了
	10 月 12 日	四代目組合長　瀧口凡夫氏就任
	11 月 27 日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(４５．０５㎡)
平成 5 年	4 月 1 日	消防吏員５人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1993)	4 月 1 日	財務会計処理のためのコンピューター導入
	7 月 10 日	福間分署シャッター取替工事完了
	10 月 4 日	40m級はしご付消防ポンプ自動車を購入
平成 6 年	2 月 28 日	日本自動車工業会から高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)が寄贈される
(1994)	3 月 17 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車を戦友会を通じてミャンマーへ贈る
	4 月 1 日	四代目消防長　多賀富男就任
	4 月 1 日	消防吏員７人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 19 日	消防組合設立20周年記念式典開催
		広報用ビデオ｢出動!!ファイヤーファイター｣制作
		20周年記念誌｢消防宗像(20年の歩み)｣作成
	7 月 29 日	指令車(スバルレガシー・ワゴン)購入、本署に配備
	9 月 6 日	福間無線中継局更新
	11 月 11 日	救急伝送システム運用開始、宗像水光会総合病院に設置
平成 7 年	2 月 17 日	阪神淡路大震災による被災地(神戸市)支援部隊派遣
(1995)	4 月 1 日	消防吏員５人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 24 日	乗用車(トヨタ・クラウン)購入、本部に配備
	5 月 27 日	消防庁長官から、阪神淡路大震災の消防支援活動功労として感謝状が贈られる
	6 月 30 日	緊急消防援助隊発足(救急隊を登録)
	9 月 18 日	赤間出張所増築工事完了
	10 月 18 日	福間分署内装補修工事完了
	11 月 1 日	赤間出張所８人増員、1箇分隊増強
	11 月 1 日	防災パンフレット｢わが家の防災ガイド｣を60,000部作成し、管内全世帯に配布する
	12 月 16 日	消防ポンプ自動車(モリタＭＸ１)購入、赤間出張所に配備
	12 月 28 日	救急伝送システムを宗像医師会病院に設置(管内２ヵ所目)
平成 8 年	4 月 1 日	消防吏員４人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1996)	5 月 29 日	大規模災害時の応急救護所及び現場指揮所等施設のために、エアーテント購入
	9 月 12 日	事務連絡車(トヨタカローラ・ワゴン)購入、本部に配備
	10 月 7 日	大島村住民向けに、ネットワークサービス(オフトークシステム)運用開始
	10 月 28 日	宗像消防署訓練塔改修工事

	11 月 5 日	救急伝送システムを蜂須賀病院に設置(管内３ヵ所目)
	11 月 27 日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
平成 9 年	4 月 1 日	消防吏員４人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1997)	7 月 1 日	調査車(トヨタハイエース)購入、本部に配備
	7 月 7 日	査察車(マツダカペラ・ワゴン)購入、本部に配備
	8 月 28 日	福岡県知事から、消防防災功労団体として、消防本部に感謝状が贈られる
	11 月 4 日	化学消防ポンプ自動車(日野FD1JGB10643)購入、本署に配備
	11 月 21 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福間分署に配備
平成 10 年	1 月 27 日	宗像消防署・福間分署・大島分遣所改修工事完了
(1998)	3 月 7 日	消防庁長官から優良消防機関として、消防本部に表彰旗が贈られる
	4 月 1 日	宗像地区事務組合公平委員会事務が、宗像清掃施設組合から宗像地区消防組合に移管される
	11 月 25 日	消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、本署に配備
	12 月 21 日	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック災害対応型）購入、赤間出張所に配備
平成 11 年	3 月 31 日	財務会計システムを更新
(1999)	11 月 15 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、神湊出張所に配備
	11 月 18 日	指揮車(ニッサンセレナ)購入、本署に配備
	11 月 26 日	福間分署倉庫新築
平成 12 年	4 月 1 日	五代目消防長　吉武秋生就任
(2000)	4 月 17 日	消防車救急先行システム開始
	6 月 8 日	五代目組合長　池浦順文氏就任
	8 月 29 日	救助工作車（日野KK－GD1JGDF）購入、本署に配備
	10 月 17 日	広報車(トヨタカルディナ)購入、福間分署に配備
平成 13 年	4 月 1 日	消防吏員２人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(2001)	11 月 1 日	玄洋福岡ライオンズクラブから「インパルス消火システム」が寄贈され、本署に配備
平成 14 年	1 月 29 日	消防ポンプ自動車購入、福間分署に配備
(2002)	2 月 1 日	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、本署に配備
	2 月 15 日	神湊出張所倉庫増築工事完了
	4 月 1 日	消防吏員３人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12 月 19 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、赤間出張所に配備
平成 15 年	4 月 1 日	旧宗像市と旧玄海町が合併新「宗像市」誕生
(2003)	4 月 8 日	消防吏員５人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 25 日	はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール完了
	8 月 4 日	赤間出張所屋根防水工事完了
	8 月 4 日	神湊出張所外壁塗装工事完了
	8 月 29 日	資機材搬送車購入、本署に配備
	10 月 1 日	六代目消防長　木村幸雄就任
平成 16 年	4 月 7 日	消防吏員２人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(2004)	7 月 10 日	本部（署）庁舎増改築工事着工
平成 17 年	1 月 24 日	旧福間町と旧津屋崎町が合併「福津市」誕生
(2005)	1 月 24 日	六代目組合長　原田慎太郎氏就任
	1 月 31 日	本部（署）庁舎増改築工事完了
	3 月 28 日	旧大島村が宗像市へ編入合併
	3 月 28 日	七代目組合長　池浦順文氏就任
	3 月 31 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福間分署に配備
	4 月 1 日	緊急消防援助隊に消火部隊を登録
	4 月 1 日	消防吏員７人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12 月 17 日	本部（署）庁舎改築第２期工事着工
	12 月 19 日	災害対応特殊高規格救急自動車（ニッサンパラメディック災害対応型）、緊急消防援助隊動態情報システム購入、赤間出張所に配備

平成 18 年	3 月	7 日	高機能消防指令センター総合整備事業完了、運用開始
(2006)	4 月	1 日	交替制勤務職員の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
	4 月	1 日	消防吏員２人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月	28 日	福岡県総合防災訓練実施（福津市西福間）
	12 月	21 日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備
平成 19 年	1 月	1 日	消防本部に救急課を設置
(2007)	3 月	31 日	宗像地区内の一部事務組合の統合により宗像地区消防組合が解散

※　平成19年４月1日、宗像地区消防組合、宗像自治振興組合、宗像地区水道企業団及び宗像清掃施設組合が統合し、「宗像地区事務組合」となる。これに伴い3月31日をもって消防組合は解散。

平成 19 年	4 月	1 日	旧宗像地区水道企業団、旧宗像自治振興組合、旧宗像清掃施設組合、
(2007)			旧宗像地区消防組合が統合し宗像地区事務組合発足
	4 月	1 日	初代組合長　池浦順文氏就任
	4 月	1 日	消防吏員４人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	9 月	1 日	ＩＰ・携帯電話発信地表示システム運用開始
	11 月	1 日	財務会計システムを更新
平成 20 年	3 月	31 日	訓練塔補修工事（屋外階段設置等）完了
(2008)	4 月	1 日	消防吏員６人採用、内４人が福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月	16 日	消防本部庁舎空調機器改修工事完了
	10 月	1 日	消防吏員１人採用、内３人が福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	31 日	人事情報システム導入
平成 21 年	1 月	23 日	福間無線中継局、ネットワーク設備改修工事完了
(2009)	2 月	24 日	消防・救急無線デジタル化に伴う電波伝搬調査実施（フィールドテスト）
	3 月	6 日	二代目組合長　谷井博美氏就任
	4 月	1 日	七代目消防長　乙藤富雄就任
	4 月	1 日	消防吏員３人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月	21 日	庁舎耐震診断実施（本署・福間分署）
	8 月	24 日	赤間出張所の全面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却（85.2㎡）
	12 月	10 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、本署に配備
平成 22 年	2 月	1 日	事務局移転（宗像市多禮２９８番地）
(2010)	4 月	1 日	宗像地区事務組合水道事業統合
	4 月	1 日	消防吏員４人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月	21 日	三代目組合長　小山達生氏就任
	10 月	1 日	１１９番緊急通報に係る位置情報通知システム（統合型）運用開始
	10 月	1 日	消防吏員２人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
平成 23 年	2 月	25 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福間分署に配備
(2011)	3 月	14 日	東日本大震災により緊急消防援助隊福岡県隊として宮城県亘理郡山元町へ消火隊及び救急隊各１隊（７人）出動
	4 月	1 日	八代目消防長　門脇　豊就任
	4 月	1 日	消防吏員６人採用、内３人が４月、内３人が９月に福岡県消防学校初任教育に入校
	12 月	27 日	消防情報表示システム地図検索データ改修完了
平成 24 年	3 月	28 日	消防救急無線デジタル化基本設計完了
(2012)			消防指令システム地図検索データ改修完了
	4 月	1 日	消防吏員3人採用、内2人が4月、内1人が9月に福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月	21 日	四代目組合長　谷井博美氏就任
	6 月	14 日	赤間出張所外部改修工事完了
	9 月	21 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、神湊出張所に配備
	9 月	24 日	高機能消防指令センター中間整備事業完了
	11 月	8 日	宗像消防署訓練塔改修工事完了

平成 25 年	2 月 21 日	人員搬送車を更新
(2013)	3 月 19 日	消防救急無線デジタル化実施設計完了
	4 月 1 日	消防吏員４人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 16 日	福間分署公共下水切替及び1階2階トイレ改修工事完了
平成 26 年	2 月 3 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、赤間出張所に配備
(2014)	3 月 5 日	支援車（日産エクストレイル）購入、本署に配備
	4 月 1 日	消防吏員２人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 1 日	交替制勤務職員の勤務体制を三部制から二部制とし運用開始
	5 月 21 日	五代目組合長　小山達生氏就任
	7 月 11 日	福間分署空調設備取替工事完了
	12 月 15 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、福間分署に配備
	12 月 25 日	小型動力ポンプ付積載車（ダイハツハイジェット）購入、大島分遣所に配備
平成 27 年	3 月 18 日	宗像消防署訓練塔屋上鉄骨補強、塗装工事完了
(2015)	3 月 18 日	消防救急無線デジタル化整備工事完了
	4 月 1 日	消防吏員２人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	8 月 20 日	署活動用無線機を購入、署所へ配置
	9 月 3 日	事務連絡車（日産ウイングロード）購入、消防総務課に配備
	10 月 1 日	大島分遣所の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
	11 月 13 日	宗像地区消防本部屋上高圧線修繕工事完了
平成 28 年	2 月 5 日	化学消防ポンプ自動車（日野SDG-GD7JGAA）購入、本署に配備
(2016)	2 月 12 日	水槽付消防ポンプ自動車を「カンボジアでの不正を許さぬ会」を通してカンボジア王国：シアヌークビル特別市へ寄贈
	3 月 30 日	福岡市消防局へ消防救急デジタル無線を接続完了
	3 月 30 日	株式会社木村組より高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）１台が寄贈される、本署に配備
	4 月 1 日	消防吏員９人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 15 日	平成28年熊本地震により緊急消防援助隊福岡県隊として熊本県益城町等へ消防車３台延べ４２人出動
	5 月 21 日	六代目組合長　谷井博美氏就任
	8 月 3 日	アナログ無線撤去工事
	10 月 13 日	宗像地区消防本部屋上及び２階ベランダ防水改修工事
	11 月 7 日	はしご付消防ポンプ自動車（MLLLAH5－30WG）購入、本署に配備
平成 29 年	4 月 1 日	九代目消防長　灘辺正信就任
(2017)	4 月 1 日	消防吏員７人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 1 日	救急隊５隊運用開始
	4 月 13 日	福岡県知事が消防通信指令事務の委託に関する規約の制定に伴う届出を受理
	6 月 27 日	査察車購入（スズキ　エブリイ）、本部に配備
	7 月 1 日	むなかた・ふくつAEDステーション制度開始
	7 月 6 日	平成29年九州北部豪雨における福岡県消防相互応援協定に基づく派遣消火隊として車両２台、救助艇１艇、職員延べ１０７人を派遣
	8 月 21 日	宗像地区消防本部屋上防水改修工事
	8 月 31 日	大規模災害発生時における燃料の優先供給に関する覚書締結
	11 月 1 日	コンビニAEDステーション開始
	11 月 30 日	福岡都市圏消防通信指令業務共同運用開始
	12 月 6 日	消防ポンプ自動車（CAFS）２台購入、本署及び赤間出張所に配備
	12 月 14 日	調査車購入、本署に配備
平成 30 年	1 月 15 日	災害時における消防用水の確保に関する覚書締結
(2018)	2 月 6 日	指揮自動車購入、本署に配備
	4 月 1 日	十代目消防長　永島英親就任
	4 月 1 日	消防吏員８人採用、福岡県消防学校初任教育に入校

	4月 1日	機構改革を実施　１本部２署２出張所１分遣所体制とし、宗像消防署福間分署を福津消防署に、宗像消防署神湊出張所を福津消防署津屋崎・玄海出張所に改める
	5月 21日	七代目組合長　原﨑智仁氏就任
	7月 12日	救急自動車１台を日本外交協会を通じて、パキスタンへ寄贈
	7月 27日	平成３０年７月豪雨により緊急消防援助隊福岡県隊として広島県広島市へ消防車１台６人出動
	11月 5日	乗用車（日産　セレナ）購入、本部に配備
平成 31 年	1月 25日	指令車購入、福津消防署に配備
(2019)	1月 31日	宗像地区ファーストレスポンダー制度開始
	2月 18日	救助工作車購入、宗像消防署に配備
	3月 18日	高規格救急自動車購入、赤間出張所に配備
	3月 29日	本部敷地内に車庫１棟増築
	4月 1日	消防吏員７人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
令和　元 年	5月 1日	福岡和白病院ドクターカー運用に関する協定書を締結
(2019)	7月 5日	全日本不動産協会福岡県本部と「防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定」を締結
	8日	福津消防署等改修工事設計業務委託契約
	11月 12日	大島分遣所改修工事
	12月 4日	福津消防署増改築改修工事
	12月 24日	公益社団法人福岡県宅地建物取引業協会と「防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定」を締結
令和　2 年	1月 10日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福津消防署に配備
(2020)	4月 1日	消防吏員４人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4月 1日	救急隊６隊運用開始
	5月 21日	八代目組合長　伊豆美沙子氏就任
	7月 4日	令和２年７月豪雨により緊急消防援助隊福岡県隊として熊本県へ延べ車両５台、１５人出動
	8月 6日	九州電力送配電株式会社福間配電事業所と災害発生時における相互の協力体制に関する覚書を締結
	8月 31日	非常用発動発電機集約工事
	11月 19日	水槽付消防ポンプ自動車購入、津屋崎・玄海出張所に配備
	11月 26日	高規格救急自動車2台購入、福津消防署及び津屋崎・玄海出張所に配備
	12月 4日	赤間出張所ホース掛塔鉄骨部材修繕工事完了
令和　3 年	3月 3日	防災協会より資機材運搬車（ダイハツ　ハイゼットトラック）１台が寄贈される、予防課に配備
(2021)	3月 12日	福津消防署建築工事基本設計完了
	4月 26日	「化学テロにおける神経剤解毒剤自動注射器の使用に関する研修」インストラクター養成コース修了
	6月 21日	事務連絡車（ダイハツ　ハイゼット）購入、福津消防署に配備
	7月 19日	株式会社木村組より高規格救急自動車（トヨタ自動車製）及び高度救命処置用資機材購入資金が寄贈される
	12月 22日	高規格救急自動車購入、赤間出張所に配備
令和　4 年	3月 4日	救急自動車１台を日本外交協会へ譲渡、グアテマラ共和国へ寄贈予定
(2022)	3月 18日	福津消防署建築工事実施設計業務委託
	4月 1日	消防吏員６人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月 20日	株式会社木村組より寄贈された購入資金（令和3年7月19日寄贈）により、高規格救急自動車（トヨタ自動車製）及び高度救命処置用資機材を購入、宗像消防署に配備
	5月 21日	九代目組合長　原﨑智仁氏就任
	6月 1日	救急隊員研修として宗像水光会総合病院で救急ワークステーションを開始
	12月 19日	宗像消防署訓練塔補助塔補修工事
令和　5 年	1月 18日	第63回交通安全国民運動中央大会交通安全優良事業所表彰式にて宗像地区消防本部が交通安全優良事業所として表彰される
(2023)	3月 30日	常備消防力適正配置調査業務委託
	3月 31日	福津消防署建設予定地取得
	4月 1日	十一代目消防長　牧吉紀就任
	4月 1日	消防吏員２人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10月 27日	市民の方から高規格救急自動車及び高規格救急自動車積載資器材一式が寄贈され、宗像消防署赤間出張所で運用開始

	11 月 30 日	福津消防署建築工事修正設計業務委託
	12 月 21 日	宗像消防署大島分遣所改修工事
令和　6 年	1 月　1 日	株式会社グローバルアリーナと「大規模災害時における支援協力に関する協定」を締結
(2024)	3 月　1 日	イオンモール株式会社と「大規模災害時における支援協力に関する協定」を締結
	3 月 25 日	福津消防署造成工事
	4 月　1 日	消防吏員２人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 16 日	福津消防署建築工事着工（工期　令和６年４月１７日～令和７年５月３０日）
	5 月　8 日	新福津消防署起工式開催
	5 月 21 日	十代目組合長　伊豆美沙子氏就任
	10 月 11 日	市民の方から高規格救急自動車及び高規格救急自動車積載資器材一式が寄贈され、宗像消防署で運用開始
	10 月 11 日	救急自動車１台をNPO法人SunPanSaへ譲渡、ウクライナへ寄贈
	11 月　1 日	宗像地区防災協会より、宗像地区消防本部設立５０周年を記念して、住宅用火災警報器４２２個の寄贈を受け、市民への無償配布事業を実施する。
	12 月　2 日	文書管理システム運用開始。
令和　7 年	3 月　5 日	市民の方から高規格救急自動車及び高規格救急自動車積載資器材一式が寄贈され、福津消防署で運用開始
(2025)		
	3 月 25 日	宗像地区消防本部設立５０周年事業として、「未来５０年に向けた人材育成」と銘打ち「宗像消防フィロソフィ」を作成する。
	3 月 27 日	第43回福岡県安全運転管理協議会交通事故防止コンクールにて宗像地区消防本部が優良事業所として表彰される
	3 月 28 日	資機材搬送車購入、宗像消防署に配備
	4 月　1 月	十二代目消防長　北野真市就任
	4 月　1 月	消防吏員７人採用、福岡県消防学校初任教育に入校

組合の組織

宗像地区事務組合　組織図　（令和7年4月1日）

組合長

伊 豆 美 沙 子　（宗像市長）

副組合長

福 井 崇 郎　（福津市長）

組合長は、関係市の長の互選によって定める。

副組合長は、組合長以外の関係市の長をもって充てる。

事務局

消防本部

- **宗像消防署**
  - 赤間出張所
  - 大島分遣所
- **福津消防署**
  - 津屋崎・玄海出張所

公平委員会

３ 人

情報公開・個人情報保護審査会

５ 人

監査委員

２ 人

組合議会

議員定数	１６ 人
宗像市	８ 人
福津市	８ 人

組合議員は、関係市の議会において、当該議会の議員のうちから選挙する。

議長及び副議長は、組合議員の互選により定める。

議 長

高山　賢二　（福津市議会議長）

副議長

岡本　陽子　（宗像市議会議長）

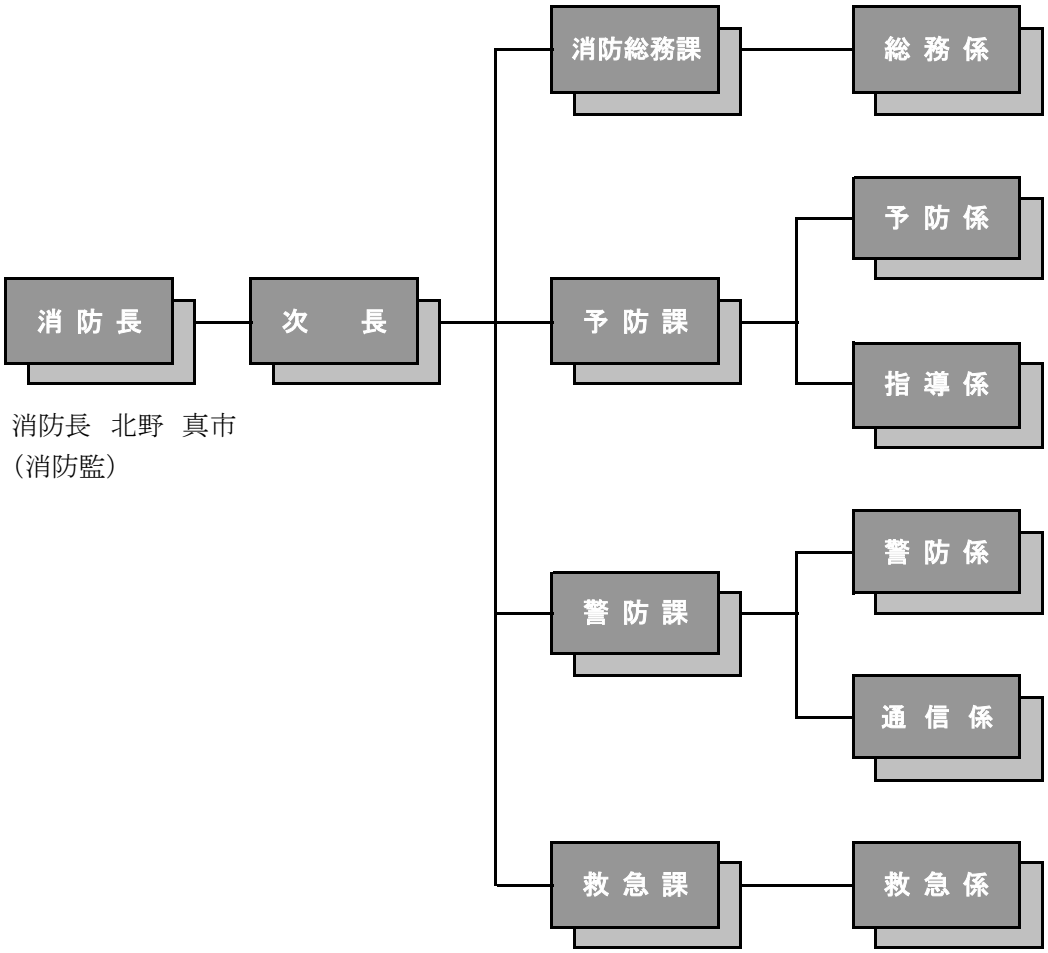
議 員	花 田 哲 司	（宗像市）	議 員	安 部 芳 英	（宗像市）
議 員	井 手 口 忠 信	（福津市）	議 員	榎 本 博	（福津市）
議 員	川 内 亮	（宗像市）	議 員	北 﨑 正 則	（宗像市）
議 員	秦 浩	（福津市）	議 員	米 山 信	（福津市）
議 員	井 浦 潤 也	（宗像市）	議 員	森 田 卓 也	（宗像市）
議 員	豆 田 優 子	（福津市）	議 員	中 村 清 隆	（福津市）
議 員	吉 田 剛	（宗像市）	議 員	岡 本 陽 子	（宗像市）
議 員	戸 田 進 一	（福津市）	議 員	髙 山 賢 二	（福津市）

消防本部・消防署の組織

○ 歴代消防長

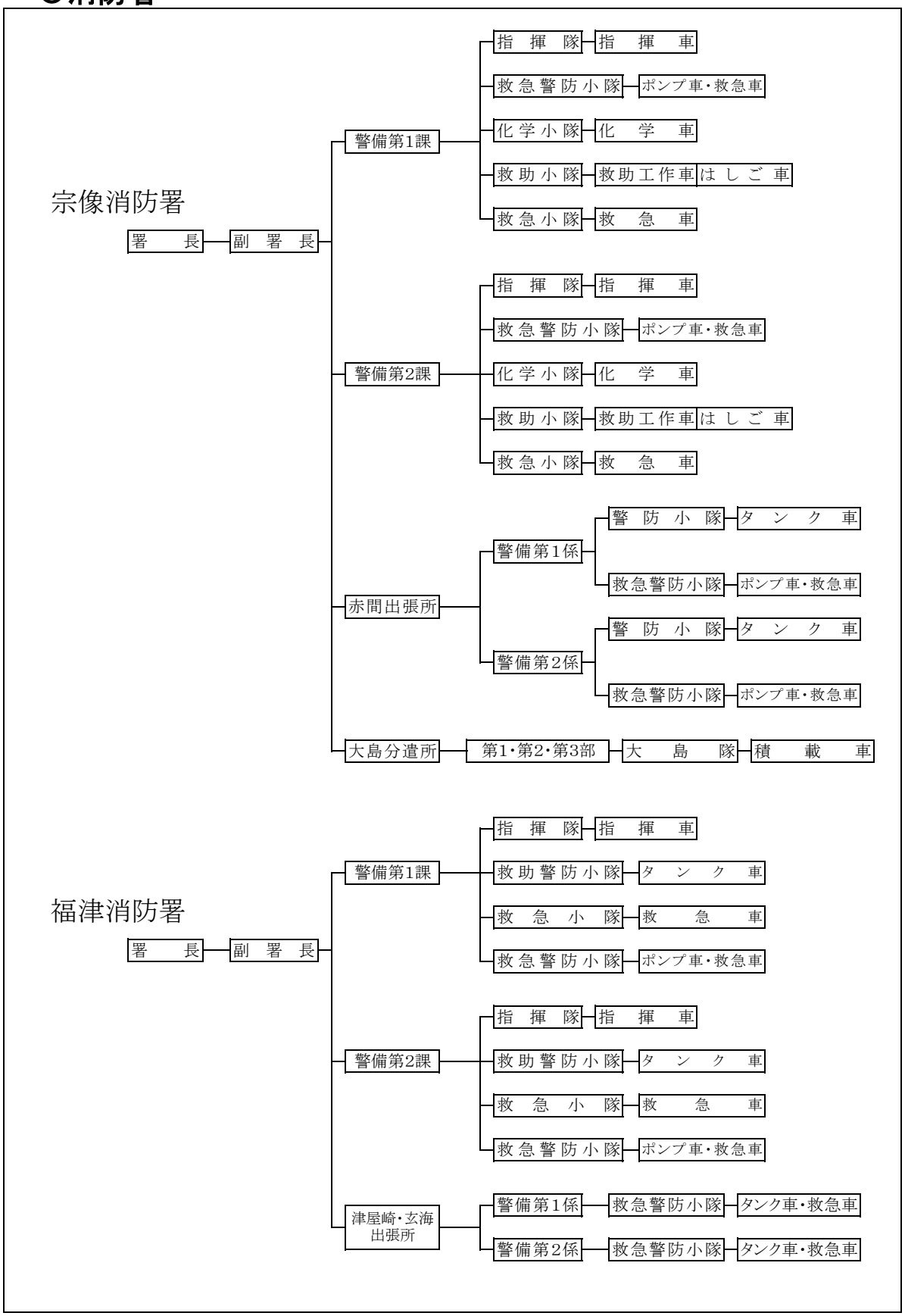
歴代	氏名	在任期間
初代	宗　實	S 49. 6. 1 ～ S 56. 12. 31
二代	山内伸夫	S 57. 2. 15 ～ S 60. 3. 31
三代	坂本守正	S 60. 4. 1 ～ H 6. 3. 31
四代	多賀富男	H 6. 4. 1 ～ H 12. 3. 31
五代	吉武秋生	H 12. 4. 1 ～ H 15. 3. 31
六代	木村幸雄	H 15. 10. 1 ～ H 21. 3. 31
七代	乙藤富雄	H 21. 4. 1 ～ H 23. 3. 31
八代	門脇　豊	H 23. 4. 1 ～ H 29. 3. 31
九代	灘辺正信	H 29. 4. 1 ～ H 30. 3. 31
十代	永島英親	H 30. 4. 1 ～ R 5. 3. 31
十一代	牧　吉紀	R 5. 4. 1 ～ R 7. 3. 31
十二代	北野真市	R 7. 4. 1 ～

○ 消防本部



消防長　北野　真市
（消防監）

○消防署


宗像消防署
署　長
副　署　長
警備第1課
指　揮　隊
指　揮　車
救急警防小隊
ポンプ車・救急車
化学小隊
化　学　車
救助小隊
救助工作車
はしご車
救急小隊
救　急　車
警備第2課
指　揮　隊
指　揮　車
救急警防小隊
ポンプ車・救急車
化学小隊
化　学　車
救助小隊
救助工作車
はしご車
救急小隊
救　急　車
赤間出張所
警備第1係
警　防　小　隊
タ　ン　ク　車
救急警防小隊
ポンプ車・救急車
警備第2係
警　防　小　隊
タ　ン　ク　車
救急警防小隊
ポンプ車・救急車
大島分遣所
第1・第2・第3部
大　島　隊
積　載　車
福津消防署
署　長
副　署　長
警備第1課
指　揮　隊
指　揮　車
救助警防小隊
タ　ン　ク　車
救　急　小　隊
救　急　車
救急警防小隊
ポンプ車・救急車
警備第2課
指　揮　隊
指　揮　車
救助警防小隊
タ　ン　ク　車
救　急　小　隊
救　急　車
救急警防小隊
ポンプ車・救急車
津屋崎・玄海出張所
警備第1係
救急警防小隊
タンク車・救急車
警備第2係
救急警防小隊
タンク車・救急車

消防本部の事務分掌

消防総務課	総務係	(1) 消防本部の組織、制度及び職務権限に関すること。 (2) 消防職員の人事に関すること。 (3) 消防職員の給与、勤務時間、休日、休暇、福利厚生及び安全衛生等の労働条件管理に関すること。 (4) 秘書及び渉外に関すること。 (5) 消防事務の企画及び管理に関すること。 (6) 消防職員の教育訓練、研修及び監察に関すること。 (7) 公文書及び公印の管理に関すること。 (8) 消防史及び記録統計の編さんに関すること。 (9) 儀式及び交際に関すること。 (10) 消防年報の作成に関すること。 (11) 消防力の整備に関すること。 (12) 消防職員の任免、分限、服務、賞罰その他身分に関すること。 (13) 消防職員委員会に関すること。 (14) 消防機械器具及び消防施設の取得、管理及び処分に関すること。 (15) 消防長会に関すること(他の課の所管に係るものを除く)。 (16) 本部内の他の課の主管に属しないこと。
予防課	予防係	(1) 危険物の規制に関すること。 (2) 危険物施設等の査察計画及び実施に関すること。 (3) 危険物施設の違反処理に関すること。 (4) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)第36条第1項各号に規定する設置の許可又は第37条の2第1項に規定する変更の許可の意見書交付に関すること。 (5) 予防運動の計画及び調整に関すること。 (6) 防災協会の育成指導に関すること。 (7) その他危険物等の火災予防に関すること。 (8) その他予防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。
	指導係	(1) 建築同意事務に関すること。 (2) 防火管理者に関すること。 (3) 防火思想の普及宣伝に関すること。 (4) 防火対象物等の査察計画及び実施に関すること。 (5) 防火対象物の違反処理に関すること。 (6) 消防用設備等の指導に関すること。 (7) 旅館、ホテルの意見書の交付に関すること。 (8) 防炎処理の指導に関すること。 (9) 消防設備士会の育成指導に関すること。 (10) その他火災予防に関すること。

警防課	警防係	(1) 消防機械器具の整備及び管理に関すること。 (2) 車両等の燃料管理に関すること。 (3) 宗像地区連絡協議会に関すること。 (4) 消防相互応援に関すること。 (5) 緊急消防援助隊に関すること。 (6) 国民保護法に関すること。 (7) 各種訓練に関すること。 (8) その他警防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。
	通信係	(1) 消防通信の業務に関すること。 (2) 消防通信施設の整備、保守管理及び計画に関すること。 (3) 気象観測及び記録に関すること。 (4) 通信統計及び通信情報に関すること。 (5) 火災警報に関すること。 (6) 庁内電話交換に関すること。 (7) 救急応需情報に関すること。 (8) 共同指令センターの運営に関すること。 (9) 消防情報支援システムの管理運営及びデータ管理に関すること。 (10) 福岡県防災・行政情報通信ネットワークに関すること。 (11) 緊急通報システムに関すること。 (12) 火災・災害等速報に関すること。 (13) その他通信業務に関すること。
救急課	救急係	(1) 救急隊及び配置に関すること。 (2) 救急資器材の整備及び管理に関すること。 (3) 救急に関する行事の企画に関すること。 (4) 応急手当等の普及啓発に関すること。 (5) 患者等搬送事業者に対する指導及び認定に関すること。 (6) 救急病院等医療関係機関との連絡調整に関すること。 (7) 救急統計に関すること。 (8) メディカルコントロールに関すること。 (9) その他救急業務に関すること。

消防署の事務分掌

消防署	全般	(1) 消防署の庶務に関すること。 (2) 文書収受及び整理保存に関すること。 (3) 公印の管理に関すること。 (4) 職員の勤務及び教養に関すること。 (5) 警備隊の配置及び運用に関すること。 (6) 災害の警戒及び防ぎょに関すること。 (7) 各種訓練に関すること。 (8) 災害、救急の調査及び報告並びに統計に関すること。 (9) 火災その他災害の原因及び損害の調査に関すること。 (10) 自主防災組織に関すること。 (11) 各種諸証明に関すること。 (12) 各種届出の処理に関すること。 (13) 備品の使用管理に関すること。 (14) 施設の整備保全及び運用に関すること。 (15) 消防署内事務の連絡調整に関すること。
	予防関係	(1) 消防法(昭和23年法律第186号)第10条に規定される危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関すること。 (2) 危険物製造所等の完成検査、廃止、保安監督者選任(解任)届出、予防規程制定(変更)認可申請及び危険物変更届出に関すること。 (3) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関すること。 (4) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関すること。 (5) 危険物施設等及び防火対象物等の査察の実施に関すること。 (6) 建築物、工作物等の火災及び人命危険の予防措置に関すること。 (7) 防火管理者及び防災管理者に関すること。 (8) 防火思想の普及宣伝に関すること。 (9) 自衛消防隊の育成指導に関すること。 (10) 危険物施設等及び防火対象物等の違反処理に関すること。 (11) 消防用設備等の指導に関すること。 (12) 催物その他各種届出に関すること。 (13) 防炎処理の指導に関すること。

消防署	警防関係	(1) 救助業務及び潜水業務の実施に関すること。 (2) 消防水利の計画、調査及び保全に関すること。 (3) 機関員等の技術管理に関すること。 (4) 消防の警備計画に関すること。 (5) 消防団に関すること。
	救急関係	(1) 救急業務の計画及び実施に関すること。 (2) 応急手当等の普及啓発の実施に関すること。

消防相互応援協定の状況

協定名	締結年月日	協定市町村等	応援の内容
宗像市・福津市と隣接する市外町との消防相互応援協定	昭和52年10月1日	宗像市、福津市、岡垣町、宮若市、鞍手町	水火災その他の災害
福岡都市圏市町消防相互応援協定	昭和55年3月1日	福岡都市圏内の市町等 9市、8町 5消防組合	火災、救急救助事案その他の災害
遠賀・中間地域広域行政事務組合、直方鞍手広域市町村圏事務組合、宗像地区事務組合常備消防相互応援協定	平成19年4月1日	遠賀・中間地域広域行政事務組合 直方鞍手広域市町村圏事務組合 宗像地区事務組合	火災又は地震等の災害
福岡県消防相互応援協定	平成元年3月25日	福岡県内の全市町村等 60市町村 13消防組合	大規模災害等
高速自動車道における消防相互応援協定	昭和61年10月15日	福岡県内インター所在7市1町10消防組合	全ての災害

消防本部の管轄地域

福 岡 県

1	北九州市	6	筑後市	11	糸島市	16	春日大野城那珂川	21	粕屋南部
2	福岡市	7	行橋市	12	八女	17	田川地区	22	宗像地区
3	大牟田市	8	中間市	13	筑紫野太宰府	18	京築広域	23	粕屋北部
4	久留米広域	9	苅田町	14	飯塚地区	19	直方鞍手広域	24	遠賀
5	直方市	10	柳川市	15	みやま市	20	甘木・朝倉		

消防本部の主なできごと

PLAY BACK

令和6年

4月

9日 第47回福岡県消防職員意見発表会

宗像地区消防本部を代表して「佐藤勇希」消防士が第47回福岡県消防職員意見発表会に出場。

22・24・25・26日 署内事務監査

消防本部、各署所の事務監査を実施。

5月

14日 職員褒章（宗像消防署救急警防小隊、化学小隊）

救急事案において、心配停止となった傷病者に対し、迅速かつ適切な救命措置により生命を救い、機能障害なく社会復帰につなげた功労

6月

9日 消防団・消防署合同水防訓練

福津市日蒔野「集いの駅」で福津市と合同の水害対応訓練を実施。

危険物安全週間（6月2日～8日）

危険物安全週間は、平成2年消防庁により制定され、以来毎年6月の第2週（日曜日から土曜日までの1週間） に各種事業が実施。

25・26日 第1回防火管理者新規講習会

学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。

7月

1日 広報紙「宗像地区事務組合だより」7月号発行～通巻53号

8月

9月

防災の日（9月1日）

救急の日（9月9日）

14日 宗像市総合防災訓練に参加

16・22・23・25・29日　署内事務監査
　消防本部、各署所の事務監査を実施。

10月
29・30日　第2回防火管理者新規講習会
　学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。

11月
1日　広報紙「宗像地区事務組合だより」11月号発行～通巻54号
9日　119番の日（11月9日）

秋季火災予防運動（9日～15日）
　管内の大型店舗（9店舗）の協力のもと、買い物客へ発行しているレシートに防火に関する広報文を印字してもらい、地域住民へ火災予防をPRした。
9日　防火パレード（宗像地区消防本部・消防団）
「火の用心」の“のぼり”を掲げた消防車両で管内を防火パレードし、防火を呼びかけた。
9日　福津市一斉防災訓練
福津市消防団合同火災防ぎょ訓練
10日　第47回消防ママさんバレーボール大会

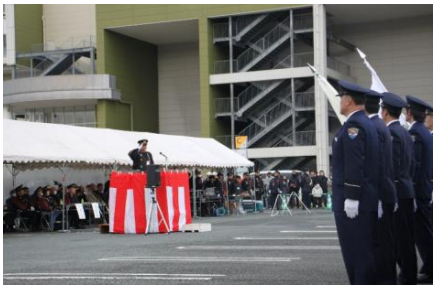
24日　宗像市消防団ブラインド訓練
　宗像市山田で宗像市消防団と建物火災を想定したブラインド訓練を実施。

12月
25～1月5日　年末年始特別警戒

令和7年
1月

6日 署内意見発表会

13日 令和7年消防出初式（イオンモール福津）



文化財防火デー（1月26日）

1949年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県斑鳩町）の金堂が炎上したことに因んで制定された記念日。

24日 文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練

宗像大社職員、宗像市消防団及び宗像消防署が参加し、宗像大社で文化財火災防ぎょ訓練を実施。

2月

3日 防火ポスターコンクール審査会

管内の小学3年生約1，700人を対象に作品を募集。

優秀な作品を春季火災予防運動期間中、市内の大型店舗に展示し火災予防をPRした。

7日 甲種防火管理再講習を実施

防災設備等の高度化への順応や消防法令の改正の把握など、知識、技能の更新が常に必要であるため、5年ごとに再講習が義務づけられている。

3月

春季火災予防運動（3月1日～7日）

管内の大型店舗（9店舗）の協力のもと、買い物客へ発行しているレシートに防火に関する広報文を印字してもらい、地域住民へ火災予防をPRした。

1日 広報紙「宗像地区事務組合だより」3月号発行～通巻55号

2日 宗像市池浦「エコパーク宗像」で消防団・消防署合同林野火災防ぎょ訓練を実施

職員の階級別定員および実員

（令和7年4月1日現在）

区分＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
定員	1	10	12	131				154
実員	1	9	8	21	54	38	15	146
（うち女性職員）						4		4

※再任用職員（短時間勤務職員）は含まない。

職員の階級別任用、退職状況

（令和6年度）

区分＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
採用							2	2
昇任		1	1		3	1		6
退職					1			1

職員の配置状況

（令和7年4月1日現在）

区分＼階級		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防本部	消防長	1							1
	次長		1						1
	消防総務課		1	1	2	3		7	14
	予防課		1	1	1	2	1		6
	警防課		1		1	1			3
	救急課		1	1			1		3
	小計	1	5	3	4	6	2	7	28
消防署	宗像消防署		2	3	6	21	17	3	52
	赤間出張所				4	6	7	1	18
	大島分遣所				1	2			3
	福津消防署		2	2	5	16	9	3	37
	津屋崎・玄海出張所				1	3	3	1	8
	小計		4	5	17	48	36	8	118
合計		1	9	8	21	54	38	15	146

職員の階級別年齢

（令和7年4月1日現在）

階級／年齢	消防吏員							計	（人） 1 5 10 15
	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
18									
19									
20							5	5	*****
21							1	1	*
22							2	2	**
23							2	2	**
24						1	3	4	****
25						2	1	3	***
26						8	1	9	*********
27						4		4	****
28						7		7	*******
29						2		2	**
30						3		3	***
31					1	3		4	****
32						3		3	***
33					1	1		2	**
34					3	1		4	****
35					2			2	**
36					3	1		4	****
37					5			5	*****
38				1	5			6	******
39				1				1	*
40					3	1		4	****
41				1	5			6	******
42				1	3			4	****
43									
44			1	1	2			4	****
45			1	2	1			4	****
46		1	1		1			3	***
47					1			1	*
48				1	3			4	****
49					1			1	*
50				2	5			7	*******
51		1	1	4	2			8	********
52		1	1	2	3			7	*******
53		2	1					3	***
54		1	1	2	2			6	******
55		1			1			2	**
56			1		1			2	**
57		1		1				2	**
58	1			1				2	**
59		1		1				2	**
60						1		1	*
計	1	9	8	21	54	38	15	146	
平均歳月	58.0	53.3	50.1	49.1	42.9	29.6	22.3	39.4	

職員の階級別勤続年数

（令和7年4月1日現在）

年数＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	（人）0 10 20
0							7	7	*******
1							2	2	**
2						1	1	2	**
3						4	2	6	******
4									
5						1	3	4	****
6						7		7	*******
7						6		6	******
8						6		6	******
9					1	8		9	*********
10						2		2	**
11									
12					2			2	**
13					2	1		3	***
14					6			6	******
15					4			4	****
16					4			4	****
17					5	1		6	******
18					4			4	****
19					2			2	**
20				4	3			7	*******
21				1	1			2	**
22		1	3		1			5	*****
23				2	1			3	***
24					2			2	**
25									
26									
27									
28				2	2			4	****
29			1		2			3	***
30		1	1		2			4	****
31		1			6			7	*******
32				3	1			4	****
33		1	1	5	1			8	********
34				1	2			3	***
35		3	2					5	*****
36	1			1		1		3	***
37									
38									
39		1		1				2	**
40									
41		1		1				2	**
計	1	9	8	21	54	38	15	146	
平均	36.0	33.4	28.5	29.2	20.9	8.1	1.7	18.1	

職員の資格(講習)取得状況

(令和7年4月1日現在)

種別	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
福岡県消防学校	特殊災害科	3	1	7				11
	予防科(予防査察科)		1	2	4			7
	危険物科	2		4	3			9
	火災調査科	1	1	4	5			11
	救急科・救急Ⅱ(標準)課程	10	6	21	49	6	28	120
	救助科	1		4	6	1	3	15
	初級幹部科A	3		3	18			24
	初級幹部科B	4	2	10				16
	中級幹部科	1	1					2
	上級幹部科	3						3
	水難救助教育				3	1	7	11
	消防操法指導員研修	6	1	3	1			11
	はしご自動車等教育	7	1	3	6		4	21
	警防科	3	1					4
	警防実務研修				9		9	18
	陸上特殊無線技士Ⅱ・Ⅲ	10	4	16	23	2		55
福岡県市町村職員研修所	階層別研修(一般・係長・課長・他)	8	2	13	10	3		36
	選択研修	9	4	11	19	1	9	53
その他	指導救命士	1	2	2	2			7
	救急救命士	2	3	4	22	1	11	43
	中型自動車免許			7	27	4	34	72
	大型自動車免許	10	5	16	26	3	13	73
	小型船舶	8	3	14	19	1	5	50
	潜水士	9	4	13	29	3	16	74
	衛生管理者	2		3	2			7
	小型移動式クレーン運転技能	6	2	10	20	1	12	51
	玉掛技能							
	予防技術資格認定者(防火査察)	4	2	13	32	2	7	60
	予防技術資格認定者(消防用設備等)	3	2	10	16	1	2	34
	予防技術資格認定者(危険物)	2		5	11	1	2	21
	ドローン操縦資格認定者	1		4	3		1	9

職員の研修状況

（令和6年度）

種別 ＼ 階級		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防大学校 予防科				1				1
福岡県消防学校	水難救助教育						2	2
	消防操法指導員研修			2				2
	救急科						1	1
	はしご自動車等教育						2	2
	初級幹部科（A）				2			2
	初級幹部科（B）			2				2
	警防実務						2	2
	危険物科				1			1
救急救命士養成研修							1	1
救急救命士就業前病院実習					1			1
救急救命士気管挿管病院実習								
救急救命士病院実習（再教育）				3	20		10	33
福岡県市町村職員研修所	リーダーのためのレジリエンス講習	1						1
	OJT研修（管理監督者・一般職員）	1			1			2
	採用試験面接官の面接力アップ研修	1						1
	情報公開・個人情報保護研修				1			1
	会議振興・協働促進のスキル向上研修				1			1
	新任課長研修	2						2
	新任係長研修			2				2
	コーチング研修				1			1
	ハードクレーム対応研修		1					1
	問題解決能力向上研修	1						1
	リスクマネジメント研修	1						1
	ハラスメント防止研修			1				1
	コミュニケーション能力向上研修	1						1
福岡県救急医学会救急隊員部会					9		4	13
日本臨床救急医学会			1		1			2

消防大学校の教育状況

（令和7年4月1日現在）

種別 ＼ 階級			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
令和5年度 累計	予防科					1				1
	総合教育	上級幹部科		2						2
		幹部科		3						3
	専科教育	警防科		3						3
		予防科		1		2				3
		救急科			1					1
		救助科				1				1
		火災調査科	1	1	1	1				4
	火災調査講習会									
	はしご自動車等講習会		1	1						2
	違反是正講習会									
	合計		2	11	2	4				19

職員の表彰受賞状況

（令和7年4月1日現在）

区分 ＼ 階級		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
令和6年度	消防庁長官功労章								
	消防庁長官永年勤続功労章	1							1
	全国消防長会永年勤続表彰		1	1		2			4
	全国消防協会優良消防職員表彰								
	福岡県知事人命救助功労表彰								
	福岡県知事永年勤続表彰								
累計	消防庁長官功労章		1						1
	消防庁長官永年勤続功労章	1							1
	全国消防長会永年勤続表彰	1	10	5	14	16	1		47
	全国消防協会優良消防職員表彰	1							1
	福岡県知事人命救助功労表彰								
	福岡県知事永年勤続表彰	1	10	5	14	16	1		47
		4	21	10	28	32	2		97

訓練・指導等の実施状況

（令和6年度）

種別 / 市別		救急講習	ポンプ操法指導	規律・小隊訓練等指導	防火・避難訓練指導	署所見学	計
合計	回数	62	136	6	119	33	356
	延人数	1,771	2,802	283	13,825	1,770	20,451

職員の教養実施状況

（令和6年度）

教育科目	教養内容	延時間	受講者階級別延人員				
			消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
実務研修教養	初任教育を修了した職員に対する教養					2	2
機関員教養	機関員の教養及び現任の機関員に対する教養	133				31	31
服務教養	現任職員に対するその職務についての教養	611	453	1,848	128	2,202	4,631
合計		744	453	1,848	128	2,235	4,664

消 防 力 の 状 況

常備消防の状況

（令和7年4月1日現在）

区分			車両等 算定数	車両等 現有台数	車両等 不足数	人員 算定数 a	人員 現有人員 b	人員 不足数 対算定 a−b	人員 充足率（%） 対算定 b/a
警防要員	消防隊員	指揮車	2	2		18	116	29	80.0
		消防ポンプ自動車	6	6		76			
		化学消防車	1	1		15			
		はしご自動車	1	1		乗換運用			
		小型動力ポンプ付積載車	1	1		3			
	救急隊員	救急自動車	6	6		18			
	救助隊員	救助工作車	1	1		15			
小計			18	18		145	116	29	80.0
本部要員	専任の予防要員					22	6	※毎日勤務者のみ	
	通信室勤務員（通信員は福岡市消防局に事務委託）					6	2		
	庶務の処理等の人員					22	22		
小計						50	30		
合計						195	146	49	74.9

※再任用職員除く

面積・人口および世帯数に対する常備消防力

（令和7年4月1日現在）

区　分	消防職員一人当たり	消防ポンプ自動車一台当たり	救急自動車一台当たり
人　口（165,772人）	1,135 人	23,682 人	27,629 人
世帯数（76,063世帯）	521 世帯	10,866 世帯	12,677 世帯
面　積（172.7Km²）	1.18 km²	24.67 km²	28.78 km²

※消防職員　146 人
　消防ポンプ車　7 台（化学車含む）
　救急車　6 台

消防団の現況

（令和7年4月1日現在）

動力消防ポンプ算定数				動力消防ポンプ整備数	
消防ポンプ車数（台）		手引・小型動力ポンプ数（口）		消防ポンプ車数（台）	手引・小型動力ポンプ数（口）
国	市町村	国	市町村		
5	28	13	38	28	14

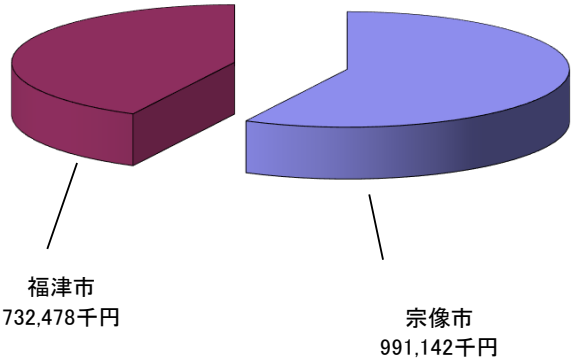
財政の状況

令和6年度決算（見込み）における構成市消防負担金 （単位 ： 千円）
1,723,620千円

（構成市の負担金）

地方交付税法により算定される構成市の当該年度の基準財政需要額のうち消防費の算定方法に準じて算定した額で、常備消防費に相当する額

宗像市　57.5%
福津市　42.5%



過去3年間における消防負担金状況

（単位 ： 千円）

		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算（見込み）
消防費基準財政需要額（A）		2,111,688	2,141,067	2,176,236
消防負担金	宗 像 市	1,008,422	972,088	991,142
	福 津 市	750,745	720,898	732,478
	合 計（B）	1,759,167	1,692,986	1,723,620
消防費基準財政需要額に占める消防負担金割合（B/A）		83.3%	79.1%	79.2%

※（参考）単位費用　11，500円　11，600円　11，800円

令和7年度宗像地区事務組合一般会計当初予算

歳入　　（単位：千円）

款	項	当初予算額
1. 分担金及び負担金	1. 負担金	2,264,826
	内消防負担金	1,843,076
2. 使用料及び手数料	1. 使用料	1,000
	2. 手数料	502
3. 国庫支出金	1. 国庫補助	1
4. 財産収入	1. 財産運用収入	3
	2. 財産売払収入	2
6. 繰越金	1. 繰越金	2,400
7. 諸収入	1. 預金利子	1
	2. 雑入	22,895
8. 組合債	1. 組合債	754,300
歳入合計		3,045,930

歳出　　（単位：千円）

款	項	当初予算額
1. 議会費	1. 議会費	3,527
2. 総務費	1. 総務管理費	60,160
	2. 監査委員費	591
3. 衛生費	1. 保健衛生費	17,950
	2. 清掃費	716,480
4. 消防費	1. 消防費	2,116,960
5. 公債費	1. 公債費	125,062
6. 予備費	1. 予備費	5,200
歳出合計		3,045,930

令和5年度消防費決算額と一般会計決算額との比較

（単位：千円）

	一般会計決算額	消防費決算額	比較 消防費／一般
宗像市	45,306,227	1,208,848	2.7%
福津市	29,346,179	843,522	2.9%
合計	74,652,406	2,052,370	2.7%

令和5年度消防費決算と消防費基準財政需要額

（単位：千円）

区分 / 市別	消防費基準財政需要額（調整後）（A）	決算額			基準財政需要額に占める決算額の割合（B／A）
		常備消防費負担金	非常備消防費	計（B）	
宗像市	1,229,370	972,088	236,761	1,208,849	98.3%
福津市	911,697	720,898	122,624	843,522	92.5%
合計	2,141,067	1,692,986	359,385	2,052,371	95.9%

※ 基準財政需要額＝消防単位費用 × 測定単位（人口） × 補正係数

人口一人当たりの消防費	12,398 円
一世帯当たりの消防費	27,335 円

※ 人　口　165,535 人

世帯数　75,083 世帯

（令和6年3月31日現在）

防火対象物の現状

（令和7年3月31日現在）

用途	市別	宗像市	福津市	計
(1)	イ 劇場・映画館等	1	1	2
	ロ 公会堂・集会場等	83	56	139
(2)	イ キャバレー・カフェー等			
	ロ 遊技場・ダンスホール等	5	1	6
	ハ 性風俗関連店舗等			
	ニ カラオケボックス等	1		1
(3)	イ 待合・料理店等			
	ロ 飲食店等	47	30	77
(4)	百貨店・マーケット等	104	68	172
(5)	イ 旅館・ホテル等	38	5	43
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	826	519	1,345
(6)	イ 病院・診療所等	58	47	105
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	43	30	73
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	73	52	125
	ニ 幼稚園・特別支援学校	8	9	17
(7)	小学校・中学校等	91	38	129
(8)	図書館・博物館等	4	2	6
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1		1
	ロ イ以外の公衆浴場等	1		1
(10)	車両の停車場等	3	2	5
(11)	神社・寺院等	78	36	114
(12)	イ 工場・作業場等	156	95	251
	ロ 映画・テレビスタジオ等			
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場	17	13	30
	ロ 飛行機等の格納庫	1		1
(14)	倉庫	131	94	225
(15)	前各項以外の事業場	335	191	526
(16)	イ 複合用途対象物（特定）	193	143	336
	ロ イ以外の複合用途（非特定）	127	108	235
(16の2)	地下街			
(16の3)	準地下街			
(17)	重要文化財等	3		3
(18)	50m以上のアーケード			
(19)	指定山林			
(20)	総務省令で定める舟車			
合計		2,428	1,540	3,968

消防用設備等の設置状況

（令和7年3月31日現在）

用途 ＼ 消防用設備等		消火設備				警報設備			避難設備		連結送水管	非常コンセント設備
		屋内消火栓設備	屋外消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧消火設備等	自動火災報知設備	漏電火災警報器	非常警報設備	避難器具	誘導灯		
(1)	イ 劇場・映画館等					1		2		1		
	ロ 公会堂・集会場等	6			1	34	2	34	12	45		
(2)	イ キャバレー・カフェー等											
	ロ 遊技場・ダンスホール等	1		1	1	6		4	1	6	1	
	ハ 性風俗関連店舗等											
	ニ カラオケボックス等					1			1	1		
(3)	イ 待合・料理店等											
	ロ 飲食店等	1				21	4	30	6	37		
(4)	百貨店・マーケット等	21	1	11	9	97		37	3	105		
(5)	イ 旅館・ホテル等	8		1		44	7	5	17	37	2	1
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	49		26	26	307	16	107	203	39	133	56
(6)	イ 病院・診療所等	7		19	2	60	5	17	16	88	1	
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等			74		76	1	8	21	72	1	
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	11		2	2	81	1	6	21	67		
	ニ 幼稚園・特別支援学校					15	2	3	4	9		
(7)	小学校・中学校等	85				119		44	13	14	1	
(8)	図書館・博物館等	2			1	4		1		2		
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1				1		1		1		
	ロ イ以外の公衆浴場等							1		1		
(10)	車両の停車場等					3						
(11)	神社・寺院等	2				8	5	22	2	5		
(12)	イ 工場・作業場等	18	3		4	83		1	3	15	1	
	ロ 映画・テレビスタジオ等											
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場				6	6				2		
	ロ 飛行機等の格納庫				1	1				1		
(14)	倉庫	12				52				4		
(15)	前各項以外の事業場	20			3	76	2	66	8	47	1	
(16)	イ 複合用途対象物（特定）	10		24	7	143	3	47	33	124	7	2
	ロ イ以外の複合用途（非特定）	2			3	30		14	11	18	4	
(16の2)	地下街											
(16の3)	準地下街											
(17)	重要文化財等					1						
合計		256	4	158	66	1,270	48	450	375	741	152	59

防火管理者を必要とする事業所の状況

（令和7年3月31日現在）

用途 ＼ 市別		宗像市		福津市		計	
		甲	乙	甲	乙	甲	乙
(1)	イ 劇場・映画館等						
	ロ 公会堂・集会場等	25	55	16	39	41	94
(2)	イ キャバレー・カフェー等						
	ロ 遊技場 ・ダンスホール等	5		1		6	
	ハ 性風俗関連店舗等						
	ニ カラオケボックス等	1				1	
(3)	イ 待合・料理店等						
	ロ 飲食店等	11	27	8	15	19	42
(4)	百貨店・マーケット等	58	12	29	6	87	18
(5)	イ 旅館・ホテル等	17	1	7		24	1
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	162		106		268	
(6)	イ 病院・診療所等	15		10		25	
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	31		29		60	
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	30	6	25	8	55	14
	ニ 幼稚園・特別支援学校	5		5		10	
(7)	小学校・中学校等	24		13		37	
(8)	図書館・博物館等	1		1		2	
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等						
	ロ イ以外の公衆浴場等						
(10)	車両の停車場等						
(11)	神社・寺院等	15	2	7	4	22	6
(12)	イ 工場・作業場等	9	1	4		13	1
	ロ 映画・テレビスタジオ等						
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場						
	ロ 飛行機等の格納庫						
(14)	倉庫	2		2		4	
(15)	前各項以外の事業場	34	17	19	16	53	33
(16)	イ 複合用途対象物（特定）	107	19	64	14	171	33
	ロ イ以外の複合用途（非特定）	24	5	17		41	5
(17)	重要文化財等						
合計		576	145	363	102	939	247

防火対象物の予防査察状況

（令和6年度）

用途 ＼ 市別		査察数 宗像市	査察数 福津市	査察数 計
(1)	イ 劇場・映画館等			
	ロ 公会堂・集会場等	33	10	43
(2)	イ キャバレー・カフェー等			
	ロ 遊技場・ダンスホール等	2		2
	ハ 性風俗関連店舗等			
	ニ カラオケボックス等			
(3)	イ 待合・料理店等			
	ロ 飲食店等	18	5	23
(4)	百貨店・マーケット等	44	17	61
(5)	イ 旅館・ホテル等	7		7
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	1		1
(6)	イ 病院・診療所等	9	5	14
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	1	2	3
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	14	9	23
	ニ 幼稚園・特別支援学校	1	1	2
(7)	小学校・中学校等	37		37
(8)	図書館・博物館等	2		2
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等			
	ロ イ以外の公衆浴場等			
(10)	車両の停車場等			
(11)	神社・寺院等	8	3	11
(12)	イ 工場・作業場等	17	1	18
	ロ 映画・テレビスタジオ等			
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場	1		1
	ロ 飛行機等の格納庫			
(14)	倉庫	17	1	18
(15)	前各項以外の事業場	4	2	6
(16)	イ 複合用途対象物（特定）	78	32	110
	ロ イ以外の複合用途（非特定）	5	4	9
(16の2)	地下街			
(16の3)	準地下街			
(17)	重要文化財等	1		1
合計		300	92	392

建築同意事務処理状況

（令和6年度）

用途 ＼ 市別		宗　像　市	福　津　市	計
(1)	イ　劇場・映画館等			
	ロ　公会堂・集会場等	1		1
(2)	イ　キャバレー・カフェー等			
	ロ　遊技場・ダンスホール等	1		1
	ハ　性風俗関連店舗等			
	ニ　カラオケボックス等			
(3)	イ　待合・料理店等			
	ロ　飲食店等	1		1
(4)	百貨店・マーケット等	5	1	6
(5)	イ　旅館・ホテル等	5		5
	ロ　寄宿舎・共同住宅等	7	9	16
(6)	イ　病院・診療所等	1	2	3
	ロ　グループホーム･有料老人ホーム等	1	1	2
	ハ　デイサービス･軽費老人ホーム等	2		2
	ニ　幼稚園・特別支援学校			
(7)	小学校・中学校等	2	2	4
(8)	図書館・博物館等			
(9)	イ　蒸気浴場・熱気浴場等			
	ロ　イ以外の公衆浴場等			
(10)	車両の停車場等			
(11)	神社・寺院等			
(12)	イ　工場・作業場等	1	2	3
	ロ　映画・テレビスタジオ等			
(13)	イ　自動車車庫又は駐車場			
	ロ　飛行機等の格納庫			
(14)	倉庫	2	3	5
(15)	前各項以外の事業場	12	10	22
(16)	イ　複合用途対象物（特定）	4	3	7
	ロ　イ以外の複合用途（非特定）			
(16の2)	地下街			
(16の3)	準地下街			
(17)	重要文化財等			
	令　別　表　外	24	39	63
合　計		69	72	141

中高層建築物（5階以上）の現状

（令和7年3月31日現在）

市別＼階別	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	計
宗像市	92	30	25	15	7	11	10	2	6	8	2	208
福津市	35	9	9	4	4	13	10	13	3	3	1	104
合計	127	39	34	19	11	24	20	15	9	11	3	312

用途＼階別		5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	計
(1)	イ 劇場・映画館等												
	ロ 公会堂・集会場等	1											1
(2)	イ キャバレー等												
	ロ 遊技場等			1									1
	ハ 性風俗関連店舗等												
	ニ カラオケボックス等												
(3)	イ 待合・料理店等												
	ロ 飲食店等												
(4)	百貨店・店舗等	1											1
(5)	イ 旅館・ホテル等	1	1				1			1			4
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	105	22	23	14	9	20	19	15	8	10	3	248
(6)	イ 病院・診療所等	1	1										2
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	1	1			1							3
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等		1										1
	ニ 幼稚園・特別支援学校												
(7)	小学校・中学校等	2											2
(8)	図書館・博物館等												
(9)	イ 蒸気・熱気浴場等												
	ロ イ以外の公衆浴場等												
(10)	車両の停車場等												
(11)	神社・寺院等												
(12)	イ 工場・作業場等	1											1
	ロ 映画・スタジオ等												
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場												
	ロ 飛行機等の格納庫												
(14)	倉庫												
(15)	前各項以外の事業場			1									1
(16)	イ 複合用途対象物	10	10	3	5			1					29
	ロ イ以外の複合用途（非特定）	4	3	6		1	3				1		18
(17)	重要文化財等												
合計		127	39	34	19	11	24	20	15	9	11	3	312

工事整備対象設備等着工届事務処理状況

（令和6年度）

区分＼市別	宗　像　市	福　津　市	計
屋内消火栓設備	3	3	6
スプリンクラー設備	5	1	6
泡消火設備			
粉末消火設備			
屋外消火栓設備			
自動火災報知設備	34	18	52
消防機関へ通報する火災報知設備	4	4	8
避難器具	6		6
パッケージ型消火設備	2	1	3
合　　計	54	27	81

法令に基づく届出処理状況

（令和6年度）

区分＼市別	宗　像　市	福　津　市	計
防火管理者選任・解任届出	164	130	294
消防計画の届出	177	137	314
防火対象物使用開始届出	216	73	289
変電設備設置届出	18	5	23
発電設備設置届出	5	2	7
蓄電池設備設置届出	1		1
ネオン管設備設置届出			
催物開催届出			
ボイラー設置届出	1		1
圧縮アセチレン等の貯蔵又は取扱いの開始届出	13	11	24
少量危険物設置届出	3	4	7
水素ガスを充てんする気球設置届出			
合　　計	598	362	960

危険物施設の現況

（令和7年3月31日現在）

製造所等の区分 ＼ 市別		宗　像　市	福　津　市	計
貯蔵所	危険物屋内貯蔵所	8	3	11
	危険物屋外貯蔵所	1	2	3
	危険物屋内タンク貯蔵所	2	2	4
	危険物屋外タンク貯蔵所	13	2	15
	危険物地下タンク貯蔵所	24	18	42
	危険物簡易タンク貯蔵所			
	危険物移動タンク貯蔵所	11	9	20
取扱所	危険物給油取扱所	35	13	48
	危険物一般取扱所	8	6	14
	危険物販売取扱所	2		2
合　計		104	55	159

危険物施設立入検査実施状況

（令和6年度）

製造所等の区分 ＼ 市別		宗　像　市	福　津　市	計
貯蔵所	危険物屋内貯蔵所	6		6
	危険物屋外貯蔵所			
	危険物屋内タンク貯蔵所			
	危険物屋外タンク貯蔵所	8	2	10
	危険物地下タンク貯蔵所	11	4	15
	危険物簡易タンク貯蔵所			
	危険物移動タンク貯蔵所	10	8	18
取扱所	危険物給油取扱所	29	12	41
	危険物一般取扱所	3	2	5
	危険物販売取扱所	1		1
合　計		68	28	96

危険物規制事務処理状況

（令和6年度）

事務別 ＼ 市別			宗　像　市	福　津　市	計
許可・認可	小　計		16	26	42
	設置	許　可			
		完　成			
	変更	許　可	5	9	14
		完　成	5	9	14
	仮使用		5	8	13
	仮貯蔵・仮取扱				
	予防規程		1		1
	前検査	完成検査 水張			
		完成検査 水圧			
届出	小　計		35	23	58
	変更		23	18	41
	種類数量変更		1	1	2
	譲渡・引渡				
	廃止		6	1	7
	使用休止再開				
	保安監督者選解任		5	3	8
	事故発生				
	許可証等再交付				
	申請取り下げ				

宗像地区防災協会

防災体制の強化推進及び会員相互の融和と協調をはかり、災害の防止に努め、もって事業所の健全な発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

令和7年度　会　長　吉武　大作
副会長　原口　幸聖
副会長　伊規須　清貞
副会長　神島　亘

会員数133事業所
（令和7年5月31日現在）

防災協会の組織

宿泊施設部会

塗料販売部会

LPガス販売部会

石油販売部会

工場部会

病院等部会

大型店舗部会

事業所部会

特別会員部会

赤い円は、太陽・火災等を意味し、災害を防ぐように「ム」の字が回りを囲んでいる。また、円を中心よりわずか下方へずらすことによって人の頭を意味し「ム」は災害をシャットアウトしようとする「手」を意味する。「ム」は災害無しの「無」である。

定例総会

令和６年度の主な活動

- 危険物取扱者試験受験準備講習会（5月、9月、1月）
- 定例総会（6月）
- 甲種防火管理新規講習（6月、10月）
- 会員研修会（5月、11月）
- 火災予防運動期間中の火災予防啓発活動
  防火横断幕の掲示、防火チラシ等の配布（11月、3月）
- 「防災とボランティアの日」に伴う防火講話（1月）
- 会報「防災むなかた」発刊（1月）
- 幼年消防クラブへの防火ハッピ贈呈（2月）

幼年消防クラブへの
防火ハッピ贈呈

甲種防火管理新規講習

「防災とボランティアの日」
防火講話

会員研修会（普通救命講習Ⅰ）

火災予防啓発活動

宗像地区幼少年婦人防火委員会

防災防火意識の高揚を図り、防火知識の普及に努めるため、民間の防火組織として地域に密着した幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブ、あるいは地域の自主防災組織の運営指導について、研究及び助言するとともにクラブの健全な育成発展に寄与することを目的とする。

幼 年 消 防 ク ラ ブ

幼稚園、保育園の園児で結成され、正しい火の取り扱い方などについて、園独自の指導計画を立て、自主的に活動するとともに防災行事に積極的に参加しています。

少 年 消 防 ク ラ ブ

少年のころから学校や家庭における火災予防に関する知識を身につけさせるために結成され、防火夜回り等の防災行事に積極的に参加し、活発な活動を行っています。

少年消防クラブ員章

婦 人 防 火 ク ラ ブ

防災は「わが家から」を合言葉に、家庭の主婦で結成され、防火教室や救命講習会を開催し、家庭や地域の災害予防に積極的に活躍しています。

令和６年度の主な行事

- 福津市女性防火クラブ「定例総会」(6月)
- 宗像地区幼少年婦人防火委員会「定例会」(8月)
- 岬地区少年消防クラブ「防火書道」「防火夜回り」(11月)
- 宗像地区婦人防火クラブ 第47回消防ママさんバレーボール大会(11月)
- 福津市女性防火クラブ 役員研修会(12月)
- 幼年消防クラブ 出初式参画(1月)

宗像地区幼少年婦人防火委員会「定例会」

幼年消防クラブ「出初式参画」

宗像地区婦人防火クラブ「消防ママさんバレーボール大会」

岬地区少年消防クラブ「防火書道」

防火団体構成表

（令和7年4月1日現在）

区 分	市 別	名 称	設立年月日	クラブ員数
婦 人	宗像地区	宗像地区婦人防火クラブ	S63.11.27	97
	福 津 市	福津市女性防火クラブ	H19.5.1	80
	小 計			177
少 年	宗像地区	岬地区少年消防クラブ	S59.4.22	31
	小 計			31
幼 年	宗像市	博多のびっこ幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.15	264
		日の里幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.20	150
		赤間くるみ幼稚園幼年消防クラブ	S61.10.30	238
		浄徳寺幼稚園幼年消防クラブ	S63.10.1	153
		東海大学付属自由ケ丘幼稚園幼年消防クラブ	S63.10.1	313
		赤間保育園幼年消防クラブ	R5.10.1	214
		第二赤間保育園幼年消防クラブ	R5.11.1	143
		日の里東保育園幼年消防クラブ	R5.12.1	150
		野ばら保育園幼年消防クラブ	R5.12.1	108
		平等寺保育園幼年消防クラブ	R5.12.1	155
		かとう保育園幼年消防クラブ	R5.12.1	112
		かとう西保育園幼年消防クラブ	R5.12.1	113
		玄海ゆりの樹幼稚園幼年消防クラブ	R5.12.1	227
		ひかり幼育園幼年消防クラブ	R6.1.1	107
		恵愛保育園幼年消防クラブ	R6.4.1	97
	福 津 市	しらぎく幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.14	317
		聖愛幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.14	232
		光明幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.15	57
		神興幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.21	27
		若木台幼稚園幼年消防クラブ	S61.11.12	222
		津屋崎保育園幼年消防クラブ	H2.1.11	142
		大和保育所幼年消防クラブ	H2.2.5	142
		真愛保育園幼年消防クラブ	H2.6.1	92
		双葉保育所幼年消防クラブ	H25.4.1	129
		ひがしふくま真愛保育園幼年消防クラブ	H3.9.20	89
		いろどり真愛保育園幼年消防クラブ	H23.4.1	150
		こうみょうの丘幼年消防クラブ	H28.4.1	35
		福津いくみ保育園幼年消防クラブ	H30.12.26	150
		光明の郷幼稚園幼年消防クラブ	R2.3.20	33
		日蒔野あおぞら保育園幼年消防クラブ	R5.9.1	143
	小 計			4,504
合 計				4,712

現有車両の諸性能

（令和7年4月1日現在）

区分 車名	車　種	型　式	ポンプ形式	級式	無線局	登録年月日	備　考
タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野 2KG－GX2ABA	モリタ MZI	A2	有	R.1.12.12	圧縮空気泡消火装置搭載型 4WD　水1,400ℓ(1-A型) 【緊援隊登録】
ポンプ2	消防ポンプ自動車	日野 2RG－XZU640M	モリタ MZI	A2	有	R4.10.14	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク3	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ PB-FRS35G3J 改	モリタ ME-5	A2	有	H18.12.13	4WD 水 1,500ℓ(Ⅰ-A型)
ポンプ4	消防ポンプ自動車	日野 TPG-XZU640M	モリタ MZI	A2	有	H29.12.4	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク5	水槽付消防ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	日本機械 R-3	A2	有	H23.2.22	水 2,000ℓ(Ⅱ型)
ポンプ6	消防ポンプ自動車	日野 TPG-XZU640M	モリタ MZI	A2	有	H29.12.4	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク7	水槽付消防ポンプ自動車	日野 2KG-GX2ABA	モリタ MZI	A2	有	R2.10.20	圧縮空気泡消火装置搭載型 4WD　水1,400ℓ(1-A型) 【緊援隊登録】
ポンプ8	小型動力ポンプ付積載車	ダイハツ EBD-S331W	トーハツ VF53AS	B3	有	H26.12.22	4WD
ポンプ9	消防ポンプ自動車	日野 KK-XZU331M	日本機械 R-3	A2	有	H14.1.25	(CD-Ⅰ型)
化学1	化学消防ポンプ自動車	日野 SDG-GD7JGAA改	モリタ ME-5	A2	有	H28.1.15	水 1,500ℓ 薬液　500ℓ(Ⅱ型)
梯子1	はしご付消防ポンプ自動車	日野 QDG-PR1APEF			有	H28.10.21	30m 屈折梯子付
救助1	救助工作車	日野 2KG-GX2ABA			有	H30.12.26	4WD　(Ⅱ型) 【緊援隊登録】
救急1	高規格救急自動車	ニッサン 3BF-CS8E26改			有	R6.9.24	4WD【緊援隊登録】 ※宗像市民より寄贈
救急2	高規格救急自動車	ニッサン CBF-CS8E26改			有	R3.12.8	4WD
救急3	高規格救急自動車	ニッサン 3BF-CS8E26改			有	R5.10.3	4WD ※宗像市民より寄贈
救急4	高規格救急自動車	トヨタ 3BF-TRH226S			有	R2.11.4	4WD
救急5	高規格救急自動車	トヨタ 3BF-TRH226S			有	R4.4.21	4WD
救急6	高規格救急自動車	トヨタ 3BF-TRH226S			有	R2.11.4	4WD
救急7	高規格救急自動車	トヨタ 3BF-TRH226S			有	R7.2.26	4WD【緊援隊登録】 ※福津市民より寄贈
指令1	指令車	ニッサン DBA-NT32			有	H31.1.17	4WD
指揮1	指揮車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H30.2.2	ストレッチャー式指揮机 4WD
乗用車	乗用車	ニッサン DAA-HC27			無	H30.10.23	
査察車	査察車	スズキ HBD－DA17V			無	H29.6.23	4WD
輸送1	人員輸送車	トヨタ SDG－XZB50			有	H25.2.21	乗車定員21人 【緊援隊登録】
支援1	支援車	ニッサン DBA-NT31			有	H26.2.24	4WD
支援2	支援車	トヨタ CBF-TRH200V			無	H29.12.5	
搬送1	資機材搬送車	いすゞ 2TG-NPR88AM			有	R7.3.14	【緊援隊登録】
搬送2	資機材搬送車	ダイハツ 3BD-S510P			無	R3.2.15	4WD
事務連絡1	事務連絡車	ニッサン DBA－Y12			無	H27.8.26	
事務連絡2	事務連絡車	ダイハツ 3BD-S321V			無	R3.6.17	
事務連絡3	事務連絡車	ニッサン HBD-DR17V			無	R2.6.19	

いろいろな消防ポンプ自動車

圧縮空気泡消火装置搭載型消防ポンプ自動車

圧縮空気を利用し泡を生成する装置及び水600ℓを積載しており、少量の水で効率の良い泡消火を行います。

化学消防ポンプ自動車

主に油脂火災の消火活動を目的にした消防車で、1,500ℓの水と500ℓの泡消火薬剤を積載しています。

はしご付消防ポンプ自動車

主に高所での消防活動を容易にするための車両で、火災時等ビルの高層階に取り残された人の救出や高所からの放水活動等を行います。（30m屈折梯子付き）

指揮自動車

ストレッチャー式指揮机、ノートパソコン、プリンターなど、数多くの資機材を積載しており、迅速で効率の良い指揮活動が可能となります。

救助工作車

火災救急等各種の災害現場で救助活動を目的にした消防車で、空気呼吸器やレスキューカッター・照明装置など各種救助資機材を積載しています 。

資機材搬送

各種災害現場で必要な資機材を大量に搬送できるほか、夏季の災害で活動が長期化した場合は、可搬式クーラーで荷室内部を冷却し、隊員が休息をとることができます。

消防車両等の配置状況

（令和7年4月1日）

区分＼本部・署所別	本部	宗像署	赤間出張所	福津署	津屋崎・玄海出張所	大島分遣所	合計
消防ポンプ自動車		2	1	1			4
水槽付消防ポンプ自動車		1	1	1	1		4
化学消防ポンプ自動車		1					1
はしご付消防ポンプ自動車		1					1
救助工作車		1					1
高規格救急自動車		3	1	2	1		7
指令車				1			1
指揮車		1					1
小型動力ポンプ付積載車						1	1
乗用車	1						1
査察車	1						1
事務連絡車	2			1			3
人員輸送車		1					1
支援車		2					2
資機材搬送車	1	1					2
合計	5	14	3	6	2	1	31

いろいろな救助資機材

空気呼吸器

各種災害現場で、煙、有毒ガス、酸素欠乏環境から消防隊員を保護する「空気呼吸器」は、消防活動に欠かすことのできない重要な資機材です。

大型油圧式救助器具

バッテリー式の電動油圧救助器具で、持ち上げ、広げ、押さえつけ、引っ張り、締めつけ、切断の操作ができ、交通事故などの人命救助活動に使用します。

マット型空気ジャッキ

空気ボンベ、ホース、マット等を用いて、重量物の持ち上げや変形したドアの開放などに使用します。

エンジンカッター

ガソリン駆動式のパワーカッターで、ブレードを交換することにより、鉄、木材、ガラス等、多様な素材を素早く切断することができる万能型器具です。

ドローン（無人航空機）

災害現場において、迅速で広範囲な情報収集を行うことができ、特に隊員の進入が困難な場所で効果を発揮します。

携帯型CAFS消火システム

CAFS（圧縮空気泡）機能及びミスト噴霧消火機能を備えた携帯型の消火装置で、様々な種類の火災に対応しており、火災を初期の段階で一気に制圧します。

救助資機材の配置状況

（令和7年4月1日現在）

区分 ＼ 署所別		宗像署	赤間出張所	福津署	津屋崎・玄海出張所	大島分遣所	合計
一般救助器具	三連はしご	2	1	1	1		5
	救命索発射銃	2					2
重量物排除用器具	可搬ウインチ	2		1			3
	マット型空気ジャッキ	1		1			2
	大型油圧スプレッダー	2		1			3
切断用器具	エンジンカッター	2		1	1		4
	酸素溶断機	1					1
	チェーンソー	5	1	2	2	1	11
	空気鋸（電池式含む）	3		2			5
	大型油圧切断機	1		1			2
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	2	1	1	1	1	6
	有毒ガス測定器	1					1
	放射線測定器	15					15
呼吸保護用器具	空気呼吸器	21	7	8	3	1	40
	送排風機	1					1
破壊用器具	削岩機	3					3
検索用器具	熱画像直視装置	6	1	3	1		11
水難救助用器具	潜水用具一式	10					10
	水中テレビカメラ	1					1
	救命用ボート	2		1			3
	救命胴衣	16	6	9	4	3	38

消防水利の現況

（令和7年4月1日現在）

市別 ＼ 水利区分	消火栓	防火水槽					合計
		小計	100t以上	60t以上100t未満	40t以上60t未満	40t未満	
宗像市	967	444	27	148	250	19	1,411
福津市	782	275	8	180	61	26	1,057
計	1,749	719	35	328	311	45	2,468

いろいろな救急資器材

気道確保器具

救急救命士が、心肺機能停止状態の傷病者に対して、医師の具体的指示を受けて、使用する気道確保器具で、口から肺までの空気の通り道を確保することができます。

監視モニター（患者監視装置）

傷病者の心電図や心拍数、血圧、血液中の酸素飽和濃度を測定し、傷病者の状態を継続的に観察することができます。

脊椎固定具

交通事故などにより、脊椎損傷の可能性がある傷病者に対して、全身を固定することにより脊椎の動揺を防ぐことができます。

自動体外式除細動器（AED）

高性能の心電図自動解析装置を内蔵しており、心臓が停止状態の傷病者に対して、効果的な電気ショックを与えることができます。

電動吸引器

傷病者の口腔内または鼻腔内の嘔吐物や血液などを吸引することができます。

自動式心マッサージ器

心肺停止状態の傷病者に対し、安定した深さと頻度の絶え間ない胸骨圧迫心臓マッサージによって、自己心拍再開に繋がる効果的な心肺蘇生法を行うことができます。

救急資器材の配置状況

（令和7年4月1日現在）

区分＼署所別	宗像署	福津署	赤間出張所	津屋崎・玄海出張所	合計
外傷バッグ	3	2	1	1	7
手動式人工呼吸器	3	2	1	1	7
人工呼吸器	3	2	1	1	7
はさみ（レスキューシーザー）	3	2	1	1	7
喉頭鏡・マギール鉗子	3	4	2	2	11
自動式心肺蘇生器	3	2	1	1	7
頸椎固定具（ファーノケット）	3	2	1	1	7
頸椎固定具（ヘッドイモビライザー）	3	2	1	1	7
骨盤固定スリング（サムスリング）	3	2	1	1	7
電動吸引器一式	3	2	1	1	7
ドアオープナー	3	2	1	1	7
聴診器	1	2	1	1	5
ウインドポンチ	3	2	1	1	7
ボルトクリッパー	3	2	1	1	7
患者監視装置	3	2	1	1	7
血糖測定器	3	2	1	1	7
カプノメーター	3	2	1	1	7
血圧計（携帯用アネロイド）	3	2	1	1	7
レスキューセット	3	2	1	1	7
AED（自動体外式除細動器）	3	2	1	1	7
バックボード一式	3	2	1	1	7
携帯用酸素飽和度測定器	3	2	1	1	7
スクープストレッチャー	3	2	1	1	7

令和6年中の火災概況

１　出火件数

令和６年中の出火件数は３４件であり、前年に比べ１０件減少しています。
火災種別ごとの件数をみると、「その他の火災」が１５件と最も多く、出火件数の４４．１％を占め、「建物火災」１３件（３８．3%）、「車両火災」5件（１４．７%）、「船舶火災」１件（２．９%）となっています。
これらの出火件数を前年と比べると、「建物火災」１２件減少、「その他の火災」２件増加、「林野火災」４件減少、「車両火災」３件増加、「船舶火災」１件増加となっています。

２　火災の損害・死傷者の状況

令和６年中の建物焼損棟数は１４棟となり、前年に比べ１９棟減少しています。焼損床面積については、２１５平方メートルで、前年に比べ５９８平方メートル減少しています。
令和６年中の火災による損害額は、６１３，４４８千円で、前年に比べ４３１，１７５千円増加していますが、１１月に発生した船舶火災（海上自衛隊の艦艇）において、損害額が５４０，０００千円のため大幅に増加しています。
令和６年中の火災による死傷者数は、死者については１人で、前年に比べ１人減少（自損行為によるものを除く）。負傷者については３人で、前年に比べ８人減少しています。

３　出火原因

令和６年中の出火件数３４件のうち、出火原因については「たき火」が１０件（２９．４%）「こんろ」5件（１４．７%）「電気機器」「電灯・電話等の配線」が4件（１１．７%）で上位を占めており、「たき火」は前年と比べ１件減少し、「こんろ」は１件増加、「電気機器」が１件増加、「電灯・電話等の配線」が２件増加しています。
その他、建物火災の出火原因では、「こんろ」が5件、「電気機器」が4件、以下は「ストーブ」「電灯・電話等の配線」「配線器具」「取灰」がそれぞれ１件ありました。

４　住宅用火災警報器

平成１８年6月に新築住宅、平成２１年6月から既存住宅にも住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、宗像地区での設置率は８６%（令和７年6月現在）となっています。
平成２３年から令和７年までの住宅用火災警報器の奏功事例は１８件あり、一定の効果をあげており、設置から１０年以上経過している場合は住宅用火災警報器の交換を推奨し、日常の点検のしかたについても広報を行っています。

災害時覚書締結状況

大規模災害発生時における燃料の優先供給に関する覚書

被締結者	４	者	６	給油所

災害時における消防用水の確保に関する覚書

被締結者	４	者	３	事業所

大規模災害時における支援協力に関する協定書

被締結者	２	者	２	事業所

火災の状況

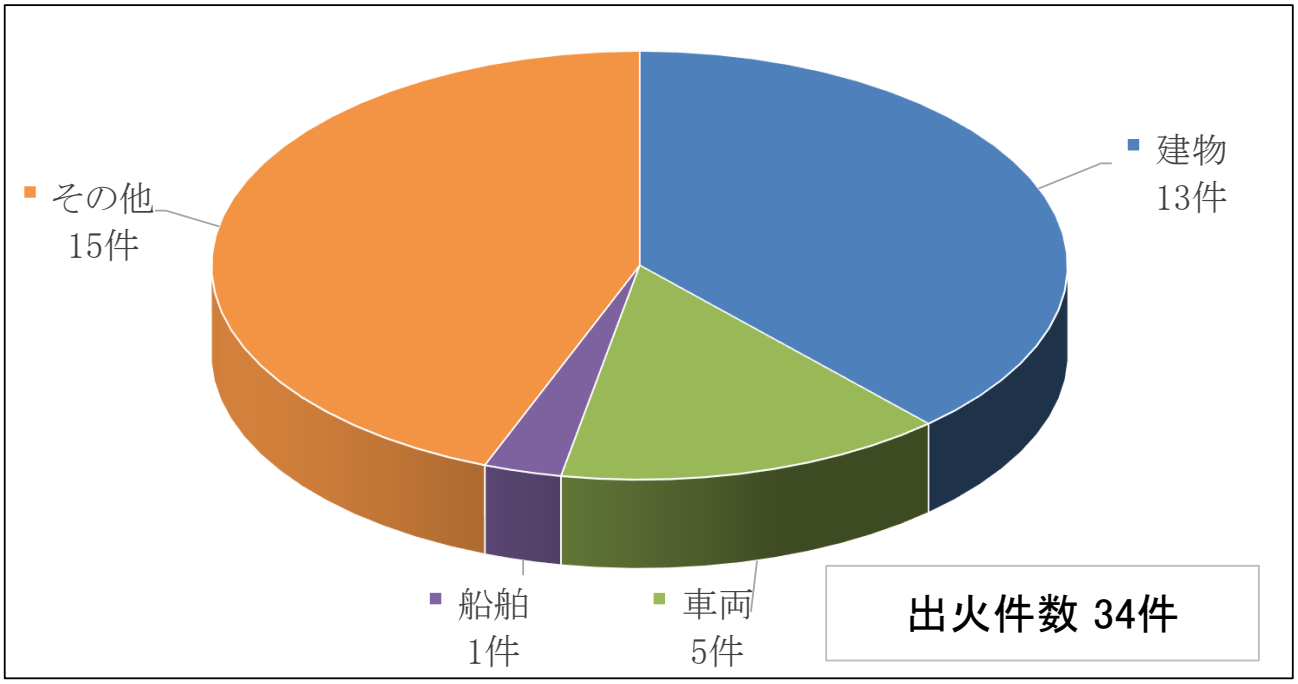
（過去2年間）

区分		令和6年	令和5年	対前年比
出火件数	件	34	44	△ 10
建物火災	件	13	25	△ 12
林野火災	件		4	△ 4
車両火災	件	5	2	3
船舶火災	件	1		1
航空機火災	件			
その他の火災	件	15	13	2
焼損棟数	棟	14	33	△ 19
全焼	棟	1	6	△ 5
半焼	棟	1	2	△ 1
部分焼	棟	1	5	△ 4
ぼや	棟	11	20	△ 9
焼損床面積（建物）	㎡	215	813	△ 598
焼損表面積（建物）	㎡	2	346	△ 344
焼損面積（林野）	a		195	△ 195
死者数	人	1	2	△ 1
負傷者数	人	3	11	△ 8
り災世帯数	世帯	7	23	△ 16
全損	世帯		5	△ 5
半損	世帯		1	△ 1
小損	世帯	7	17	△ 10
り災人員数	人	16	55	△ 39
損害額	千円	613,448	182,273	431,175
建物損害	千円	35,767	52,662	△ 16,895
林野損害	千円			
車両損害	千円	5,072	7,235	△ 2,163
船舶損害	千円	540,000		540,000
航空機損害	千円			
その他の損害	千円	32,609	122,376	△ 89,767
全火災1件当り損害額	千円	18,043	4,143	13,900
建物火災1件当り 損害額	千円	2,751	2,106	645
建物火災1件当り 建物焼損面積	㎡	16.5	32.5	△ 16.0
建物火災1件当り 焼損棟数	棟	1.1	1.3	△ 0.2
建物火災1件当り り災世帯	世帯	0.5	0.9	△ 0.4
建物火災1件当り り災人員	人	1.2	2.2	△ 1.0
出火率	件	2.05	2.65	△ 0.60
人口	人	166,041	165,823	218

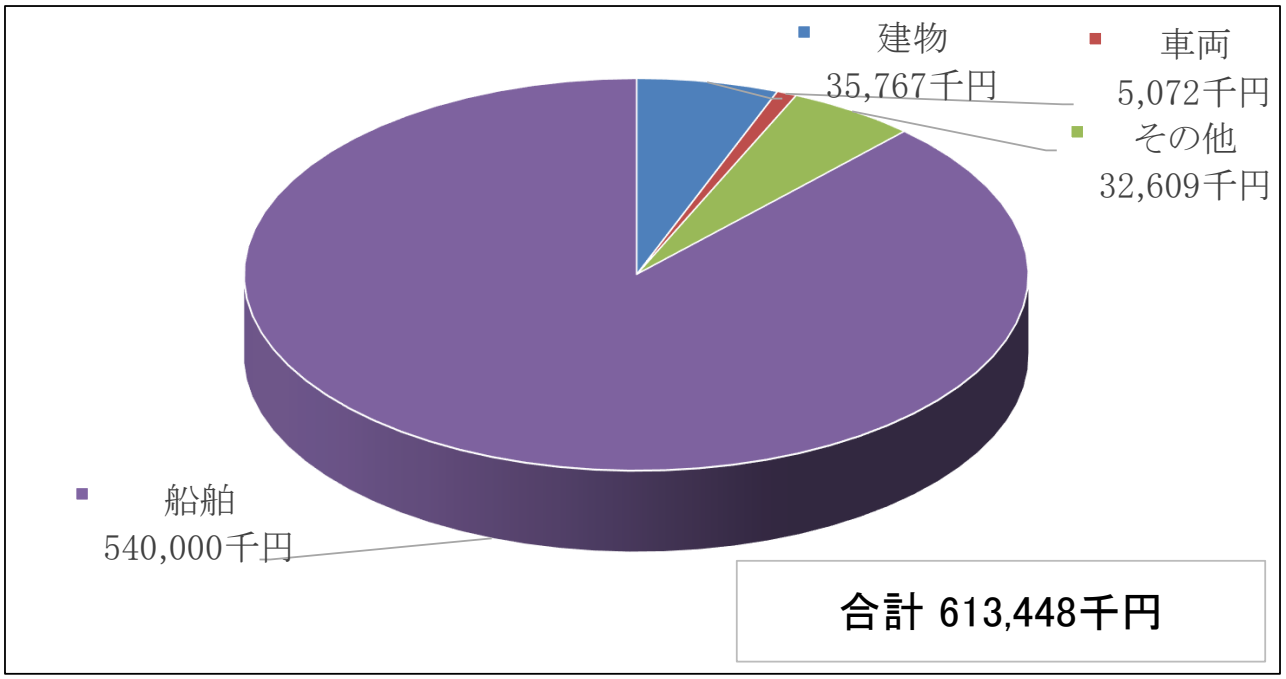
（注）出火率は、人口1万人当りの出火件数(人口は令和6年12月31日現在の住民基本台帳による)

火災種別件数

（令和6年中）

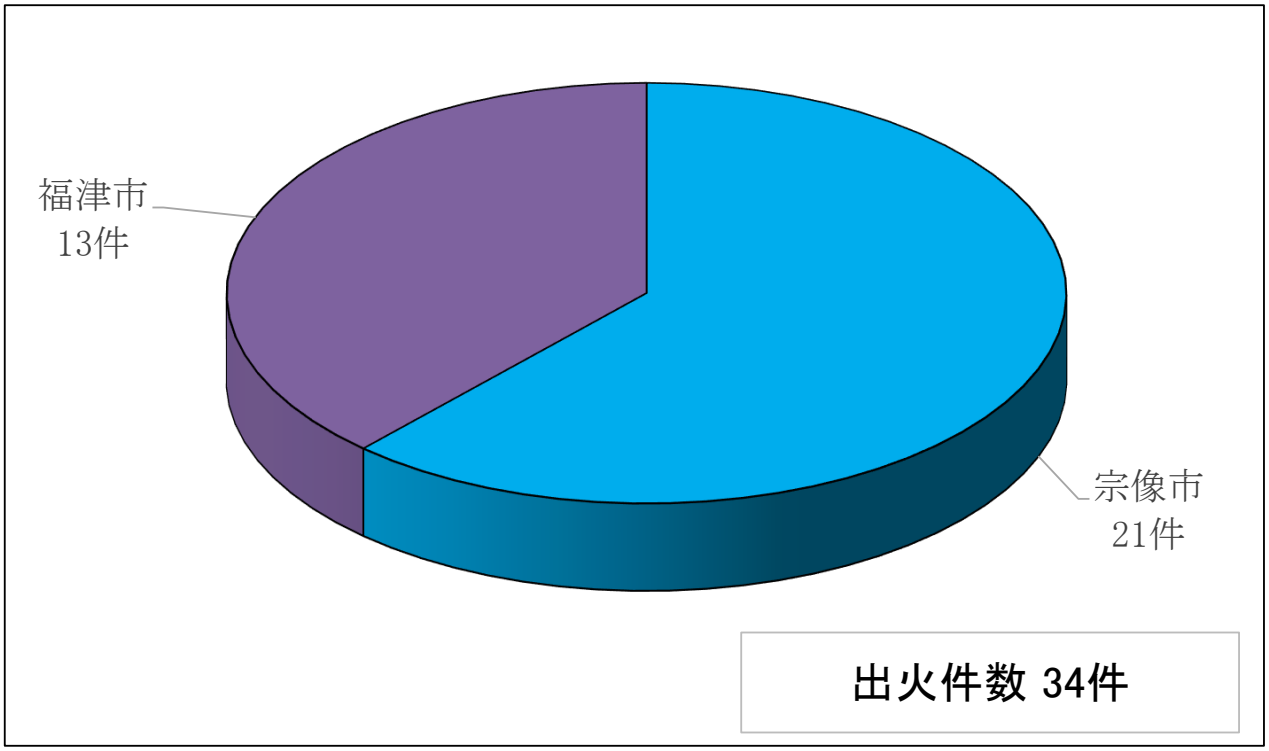


火災種別損害額

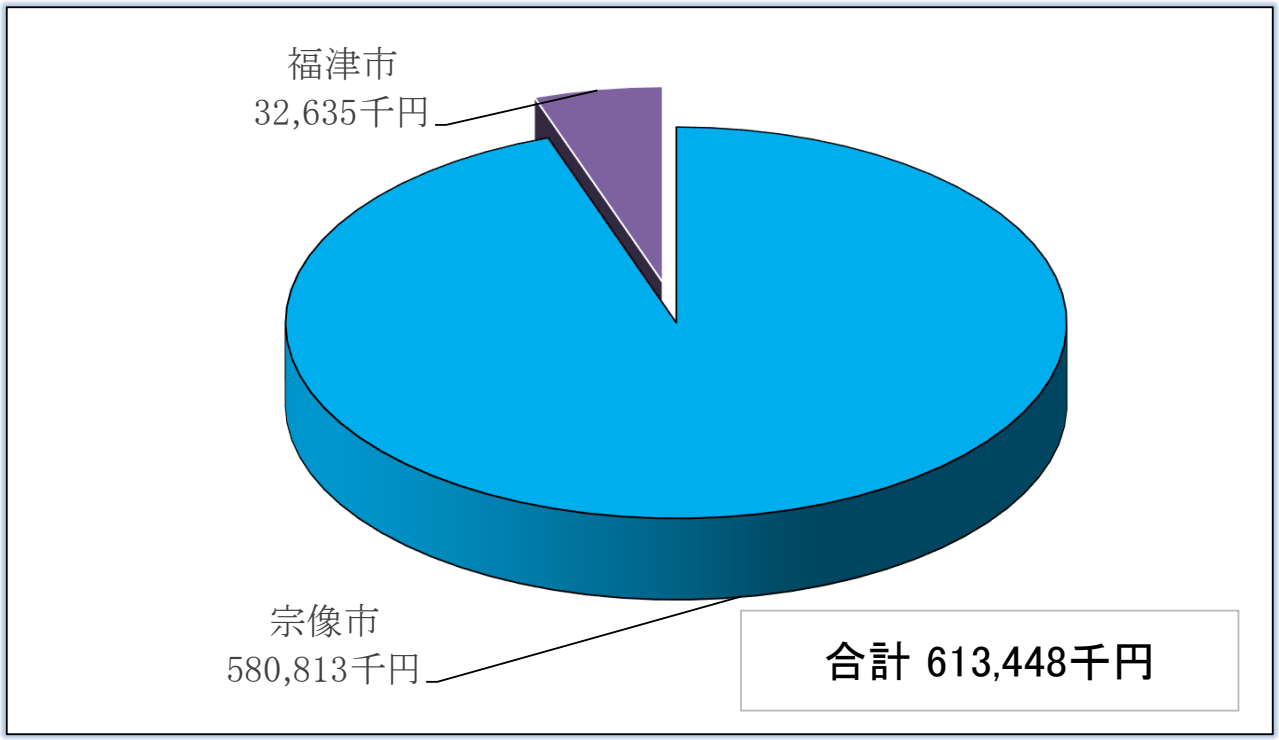


市別出火件数

（令和6年中）



市別損害額



月別出火件数及び損害状況

（令和6年中）

区分＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	件	1	4	3	2	5	2	5	2	4	3	2	1	34
建物火災	件		3	2	2			5				1		13
林野火災	件													
車両火災	件					2				1	1		1	5
船舶火災	件											1		1
航空機火災	件													
その他の火災	件	1	1	1		3	2		2	3	2			15
焼損棟数	棟		3	2	2			5	1			1		14
全焼	棟		1											1
半焼	棟											1		1
部分焼	棟				1									1
ぼや	棟		2	2	1			5	1					11
焼損床面積(建物)	㎡		178		1							36		215
焼損表面積(建物)	㎡				1			1						2
焼損面積(林野)	a													
死者数	人											1		1
建物火災	人													
建物火災以外	人											1		1
負傷者数	人					1		1				1		3
建物火災	人							1						1
建物火災以外	人					1						1		2
損害額	千円	186	38,855	8	52	33,158		137	25		402	540,614	11	613,448
建物火災	千円		34,960	4	52			137				614		35,767
林野火災	千円													
車両火災	千円					4,660					401		11	5,072
船舶火災	千円											540,000		540,000
航空機火災	千円													
その他の火災	千円	186	3,895	4		28,498			25		1			32,609
り災世帯数	世帯		2	1	2			2						7
全損	世帯													
半損	世帯													
小損	世帯		2	1	2			2						7
り災人員	人		7	2	3			4						16

宗像市内の火災状況

（令和6年中）

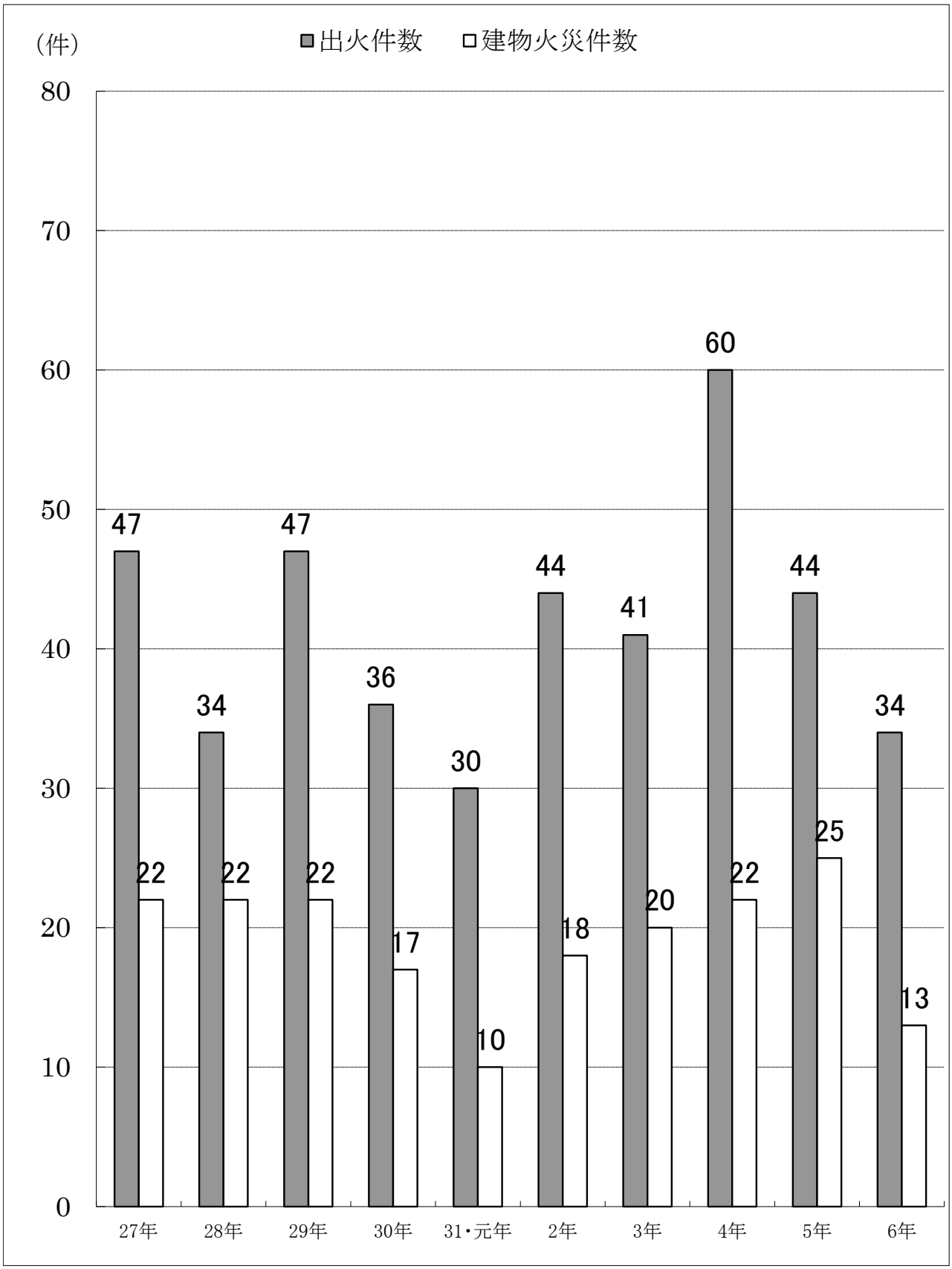
区分＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	件		3	2	2	3		3		2	3	2	1	21
建物火災	件		3	1	2			3				1		10
林野火災	件													
車両火災	件									1	1		1	3
船舶火災	件											1		1
航空機火災	件													
その他の火災	件			1		3				1	2			7
焼損棟数	棟		3	1	2			3				1		10
全　焼	棟		1											1
半　焼	棟											1		1
部分焼	棟				1									1
ぼ　や	棟		2	1	1			3						7
焼損床面積(建物)	㎡		178		1							36		215
焼損表面積(建物)	㎡				1									1
焼損面積(林野)	a													
死者数	人											1		1
建物火災	人													
建物火災以外	人											1		1
負傷者数	人					1						1		2
建物火災	人													
建物火災以外	人					1						1		2
損害額	千円		38,855	8	52	790		81			402	540,614	11	580,813
建物火災	千円		34,960	4	52			81				614		35,711
林野火災	千円													
車両火災	千円										401		11	412
船舶火災	千円											540,000		540,000
航空機火災	千円													
その他の火災	千円		3,895	4		790					1			4,690
り災世帯数	世帯		2	1	2			1						6
全　損	世帯													
半　損	世帯													
小　損	世帯		2	1	2			1						6
り災人員	人		7	2	3			2						14

福津市内の火災状況

（令和6年中）

区分＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	件	1	1	1		2	2	2	2	2				13
建物火災	件			1				2						3
林野火災	件													
車両火災	件					2								2
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件	1	1				2		2	2				8
焼損棟数	棟			1				2	1					4
全焼	棟													
半焼	棟													
部分焼	棟													
ぼや	棟			1				2	1					4
焼損床面積(建物)	㎡													
焼損表面積(建物)	㎡							1						1
焼損面積(林野)	a													
死者数	人													
建物火災	人													
建物火災以外	人													
負傷者数	人							1						1
建物火災	人							1						1
建物火災以外	人													
損害額	千円	186				32,368		56	25					32,635
建物火災	千円							56						56
林野火災	千円													
車両火災	千円					4,660								4,660
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円	186				27,708			25					27,919
り災世帯数	世帯							1						1
全損	世帯													
半損	世帯													
小損	世帯							1						1
り災人員	人							2						2

過去１０年間の出火件数の推移



原因別出火件数

（令和6年中）

原因別＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
たばこ													
こんろ			1	2			2						5
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ		1											1
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排気管					1					1		1	3
電気機器			1				3						4
電気装置													
電灯・電話等の配線		1			1			1		1			4
内燃機関													
配線器具											1		1
火遊び													
マッチ・ライター													
たき火		1	1		2	2		1	3				10
溶接機・切断機													
灯火													
衝突の火花													
取灰		1											1
火入れ	1									1			2
放火													
放火の疑い													
不明・調査中									1				1
その他					1						1		2
合計	1	4	3	2	5	2	5	2	4	3	2	1	34

過去１０年間の主な出火原因の推移（※不明・調査中を除く）

出火原因	1 位	その他 12件	たばこ 5件	たき火 12件	たき火 その他 7件	たき火 9件	たき火 13件	たき火 8件	たき火 17件	たき火 11件	たき火 10件
	2 位	こんろ 5件	電灯・電話等の配線 4件	その他 5件		たばこ 4件	その他 6件	たばこ 7件	たばこ 7件	こんろ 4件	こんろ 5件
	3 位	たき火 4件	たき火 放火の疑い その他 3件	電気機器 電灯・電話等の配線 3件	電気機器 5件	放火の疑い その他 不明・調査中 3件	たばこ 電灯・電話等の配線 配線器具 4件	電灯・電話等の配線 配線器具 溶断機・切断機 2件	その他 放火の疑い 5件	電気機器 放火の疑い 3件	電気機器 電灯・電話等の配線 4件
出火件数		47件	34件	47件	36件	30件	44件	41件	60件	44件	34件
統計年		27年	28年	29年	30年	31・元年	2年	3年	4年	5年	6年

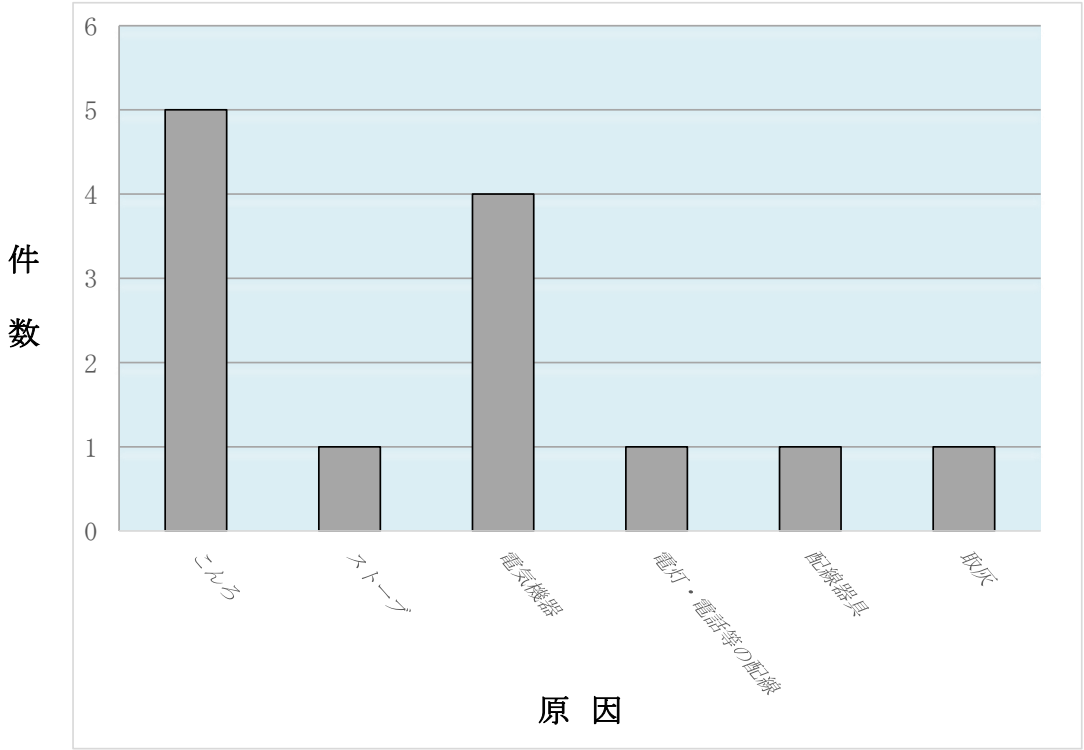
建物用途別出火件数

（令和6年中）

用途別＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
住宅		2		1			1						4
共同住宅				1									1
寄宿舎													
事務所													
店舗			1				2						3
工場							1						1
作業場													
倉庫		1											1
納屋													
物置											1		1
置場													
車庫			1										1
養畜舎													
その他							1						1
計		3	2	2			5				1		13

建物火災の出火原因

（令和6年中）



覚知別出火件数

（令和6年中）

覚知別＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災報知専用電話（NTT以外の固定電話）													
火災報知専用電話（NTT加入の固定電話）			1								1		2
火災報知専用電話（携帯電話）	1	3	1	1	5	2		1	4	3	1	1	23
加入電話（固定電話）													
加入電話（携帯電話）													
警察電話													
駆け付け通報													
事後聞知		1	1	1			5	1					9
その他													
合計	1	4	3	2	5	2	5	2	4	3	2	1	34

曜日別火災概況

（令和6年中）

曜日別＼内訳	出火件数（件）							死傷者（人）		焼損面積			損害額（千円）
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者	建物（㎡）	表面積（㎡）	林野（a）	
日曜日	4	1			1		2	1	1	178			578,840
月曜日	8	6					2		1	37	1		756
火曜日	1						1						
水曜日	4	2		1			1						41
木曜日	5	2					3		1		1		819
金曜日	4			2			2						437
土曜日	8	2		2			4						32,555
不明													
合計	34	13		5	1		15	1	3	215	2		613,448

時間別出火概況

火災

（令和6年中）

区分 / 時間別	出火件数（件）							死傷者(人)		焼損面積			損害額（千円）
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者	建物（㎡）	表面積(㎡)	林野（a）	
0～1													
1～2													
2～3	1	1											48
3～4	1	1											27
4～5	1	1								36			614
5～6	1			1									11
6～7	1	1											6
7～8													
8～9	3			2			1						552
9～10	2				1		1	1	1				540,000
10～11	2			1			1						
11～12	3	1					2		1				804
12～13	5	2					3						26
13～14	1						1						
14～15	2	2								179			38,864
15～16	3						3						186
16～17	3	1					2						8
17～18													
18～19	1						1						
19～20													
20～21	1	1											
21～22	1	1									1		28
22～23	1	1							1		1		56
23～24	1			1									32,218
不明													
合計	34	13		5	1		15	1	3	215	2		613,448

気象別出火件数

（令和6年中）

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
天候	晴	1	2	2	2	4	1	4	2	4	2	1		25
	曇		1				1				1	1	1	5
	雨		1	1		1		1						4
	雪													
	不　明													
	計	1	4	3	2	5	2	5	2	4	3	2	1	34
風向	無風状態							1						1
	北		2	1		2	1							6
	北北東										1		1	2
	北　東										1			1
	東北東		1							1				2
	東			1		1				1				3
	東南東				1		1	1				1		4
	南　東											1		1
	南南東					1								1
	南		1	1				1	1	1				5
	南南西										1			1
	南　西							1	1	1				3
	西南西				1									1
	西							1						1
	西北西													
	北　西					1								1
	北北西	1												1
	不　明													
	計	1	4	3	2	5	2	5	2	4	3	2	1	34
風速（m/S）	1未満							2			1	1		4
	1～2				1			1	1	1			1	5
	2～3			1		1	1	1		2	1	1		8
	3～4		2					1						3
	4～5	1	2		1	3	1		1		1			10
	5～6			2		1				1				4
	6～7													
	7～8													
	8以上													
	不　明													
	計	1	4	3	2	5	2	5	2	4	3	2	1	34
湿度（%）	40未満		1			1								2
	40～50	1	1							1	1			4
	50～60			2		1	1		1	2				7
	60～70		1			2					1			4
	70～80						1	2	1	1		1		6
	80～90				2	1		1			1			5
	90～100		1	1				2				1	1	6
	不　明													
	計	1	4	3	2	5	2	5	2	4	3	2	1	34

月別・市別出動車両・出動人員

（令和6年中）

分類 / 月別 市別	出火件数	出動件数	事後調査件数	出動車両（台）			出動人員（人）		
				計	消防署	消防団	計	消防署	消防団
1 月	1	1		5	4	1	17	10	7
2 月	4	3	1	21	16	5	106	45	61
3 月	3	2	1	21	15	6	83	43	40
4 月	2	1	1	14	9	5	64	23	41
5 月	5	5		40	31	9	135	88	47
6 月	2	2		10	10		27	27	
7 月	5		5						
8 月	2	1	1	20	6	14	94	18	76
9 月	4	4		24	22	2	76	61	15
10 月	3	3		19	15	4	66	42	24
11 月	2	2		12	8	4	42	22	20
12 月	1	1		5	5		13	13	
合 計	34	25	9	191	141	50	723	392	331
宗像市	21	15	6	115	83	32	454	229	225
福津市	13	10	3	76	58	18	269	163	106

（注）出動件数とは、出動指令により火災出動した件数で一連の火災調査も含む。
事後調査件数とは、事後通報により火災調査のみに出向した件数である。

令和６年中の救急概要

１　救急出動件数等の概況

令和6年中の救急自動車による救急出動件数及び救急搬送人員は、8,222件、7,214人であり、前年（令和5年中）に比べると出動件数は695件、搬送人員は852人増加しました。
救急自動車による出動件数は、一日平均22.5件で、約64分に1件の割合で救急出動し、市民の約23.0人（前年約26.0人）に1人が救急自動車により搬送されたこととなります。
ヘリコプター使用による搬送件数及び搬送人員は、5件、5人であり、前年と比べると2件、2人減少となっています。
また、覚知から現場到着までの所要時間の平均は、8.9分（前年比較で0.1分短縮（6秒）前年全国平均10.0分）、医療機関収容までの所要時間の平均は、34.1分（前年比較で0.5分短縮（30秒）前年全国平均45.6分）と短縮しました。
※救急出動件数の増加は、6月から9月における熱中症関連及び新型コロナウイルス感染症、12月におけるインフルエンザを含む発熱関連が増加の一因と考えられます。

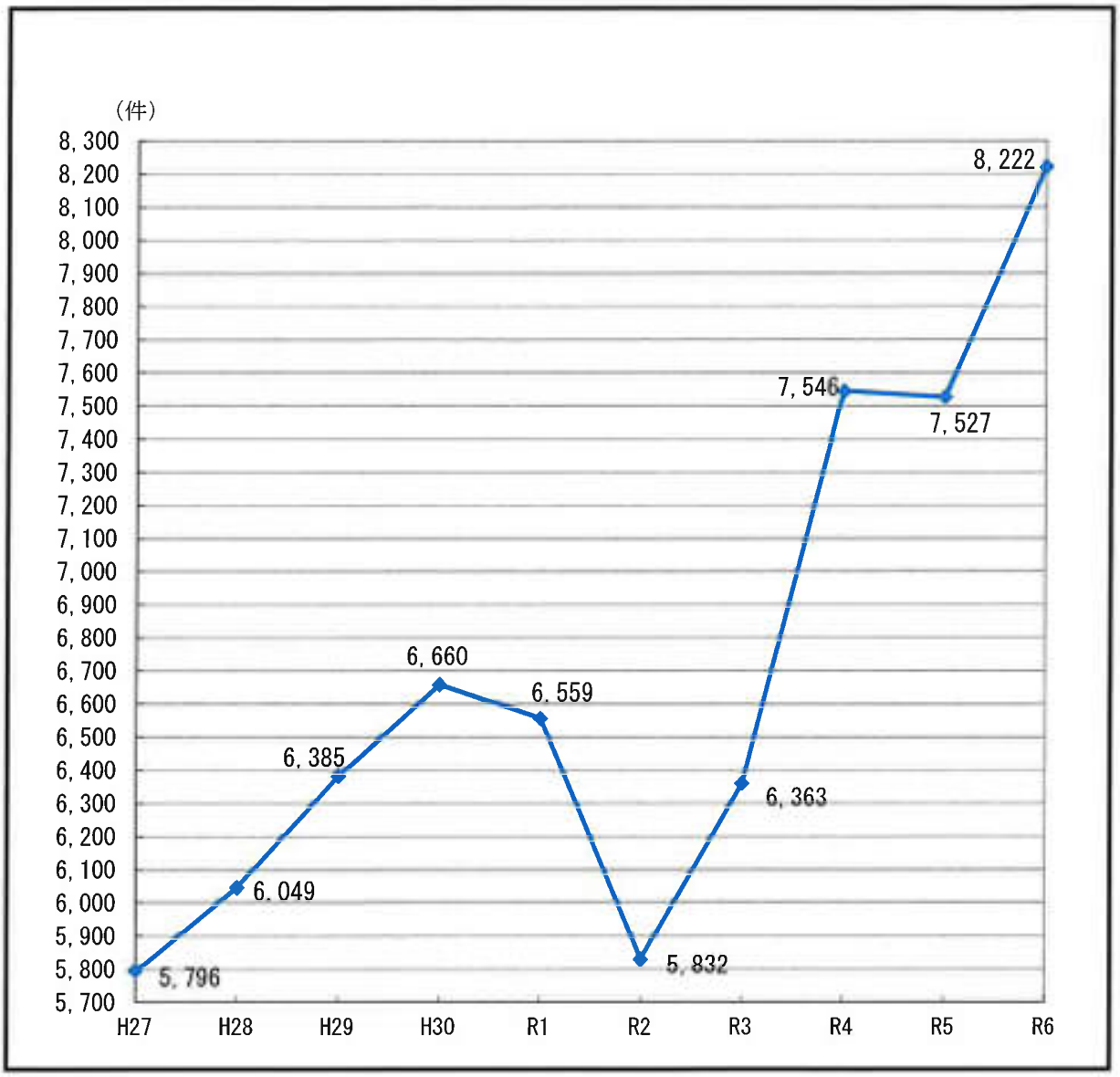
２　救急搬送人員の詳細

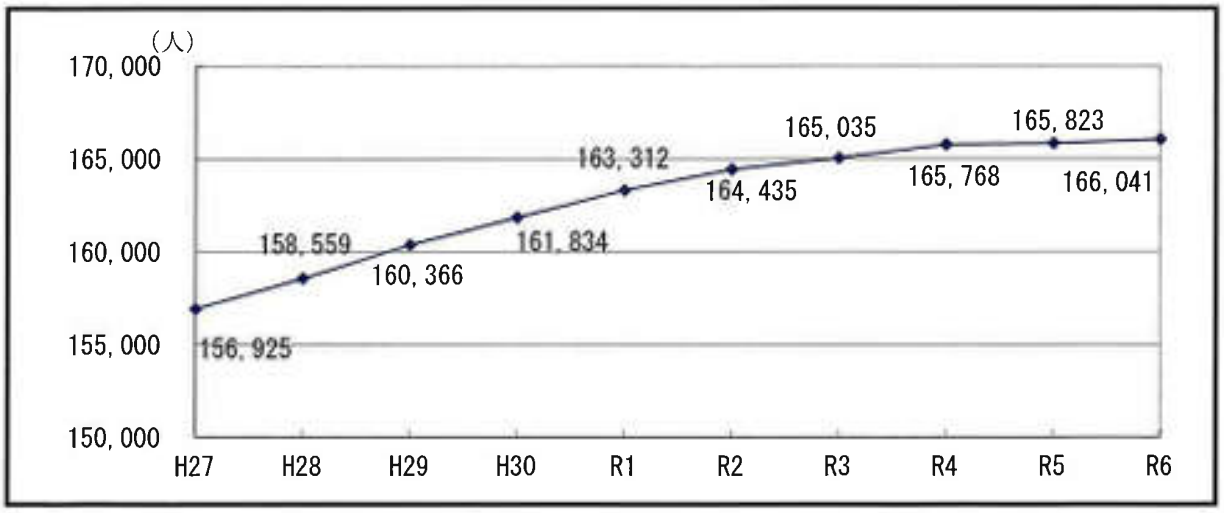
令和6年中の救急搬送人員を傷病程度別割合で見ると「軽症」が33.3%、「中等症」が61.6%を占めています。事故種別構成比で最も大きかったのは、全体の67.4%を占める「急病」であり、前年と比べ464人増加、「一般負傷」は169人増加しています。
年齢区分別割合で見ると「高齢者（65歳以上）」が、全搬送人員の68.3%を占め、「成人（18歳以上65歳未満）」の23.3%を大きく上回っています。
今後、高齢化の一層の進展による人口構成の変化が見込まれており、救急需要は高まる可能性があります。

３　応急救護体制について

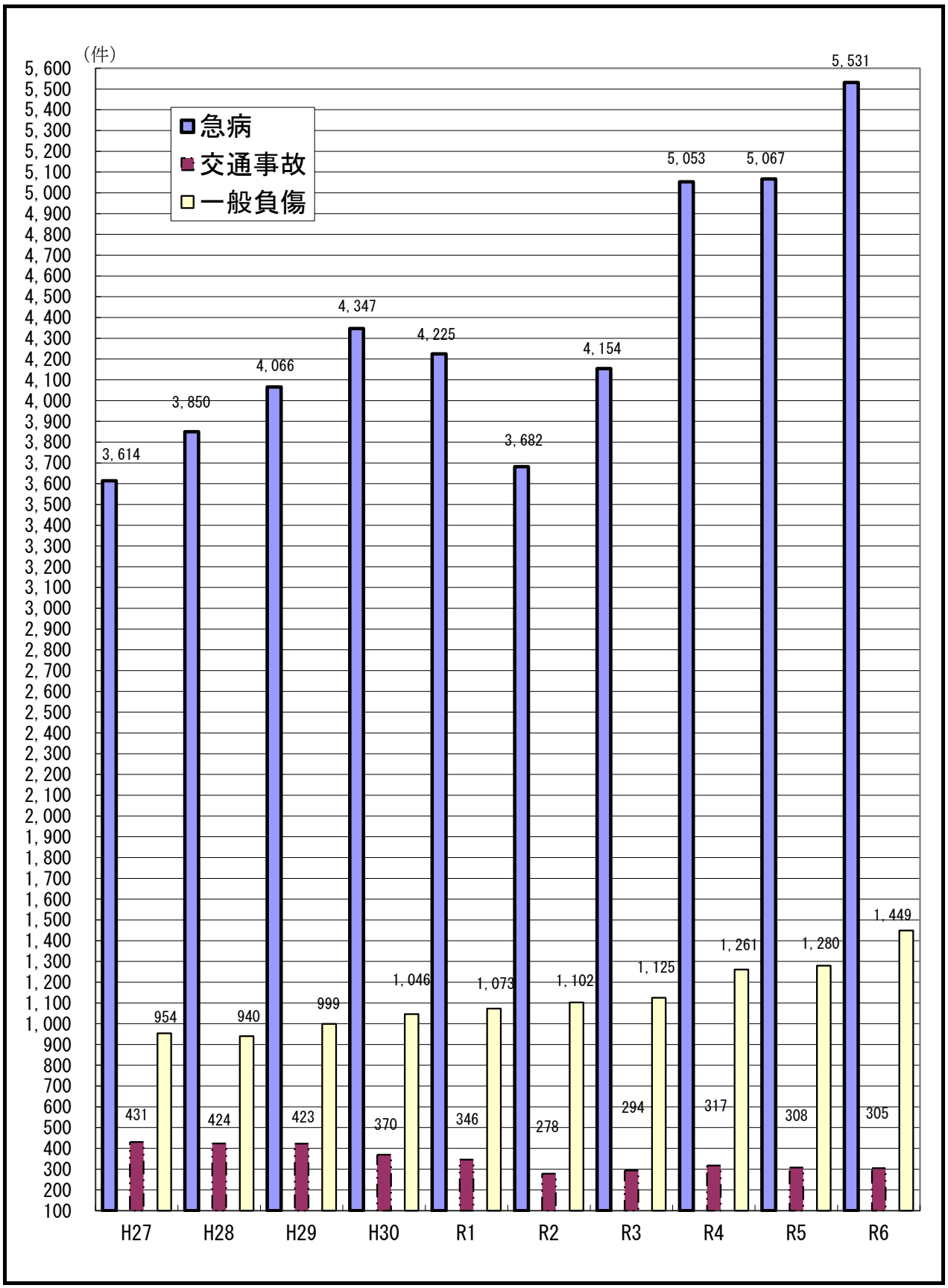
令和6年中の応急手当普及啓発活動は、救命講習及び救急講習を開催し、前年の2,812人に対し、3,898人が受講しています。
市民が広くAEDを使用できる環境を目指し、平成29年度に開始した「むなかた・ふくつAEDステーション制度」は、242施設が登録しています。そのうち24時間営業のコンビニエンスストア51店舗に、消防本部がリースしているAEDを設置しています。
また、コンビニエンスストアのAEDは、すべてオートショックAEDであり、これにより、早く確実な電気ショックの実施、救助者の負担軽減などの効果が見込まれるため、住民に対して広報、指導を実施し、積極的な利用を促しています。本年12月には心肺停止の傷病者に対して、バイスタンダーがコンビニエンスストアのAEDを使用して救命した奏功事例も発生しております。
平成31年1月31日に宗像地区ファーストレスポンダーを制度化、離島地域（大島地区、地島地区）の救命率向上のため、心肺蘇生等の応急手当を行うことができる宗像地区ファーストレスポンダーとして38人が登録されています。今後更に養成を行い、離島地域の救命率及び社会復帰率向上に繋げます。

過去10年間の救急出動件数及び人口の推移





過去10年間の3大事故種別（急病・交通事故・一般負傷）の出動件数の推移



管内総括表

救急

（令和6年中）

月別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院	医師	資器材	その他		
出動件数	1			1	26	6	5	136		3	512	59			5	753	
	2	1			29	2	3	122	4	4	430	41			9	645	
	3	1		3	24	4	3	102	1	8	420	58			4	628	
	4	1			17	4	8	111	2	5	396	57			4	605	
	5	1			22	4	7	116	2	6	423	52			3	636	
	6			1	18	5	11	97		6	424	52			5	619	
	7	1			34	12	7	122	2	10	576	62			6	832	
	8		1		26	13	8	130	3	2	581	53			5	822	
	9			1	26	7	12	102	1	3	425	42			4	623	
	10				28	4	5	148		3	402	47			8	645	
	11	3			26	6	6	117	2	5	369	44			7	585	
	12	1			29	7	5	146	2	3	573	59			4	829	
	合計	9	1	6	305	74	80	1,449	19	58	5,531	626			64	8,222	
	前年	26		2	308	58	67	1,280	20	77	5,067	580			42	7,527	
搬送件数	1				20	6	5	112			444	59				646	107
	2				21	3	2	109	2	1	374	41				553	92
	3				18	3	3	87	1	3	361	58			1	535	93
	4				13	4	6	100	1	3	359	57				543	62
	5				20	4	7	103	2	6	379	51			1	573	63
	6			1	17	4	11	82		4	386	52				557	62
	7				27	12	7	107	2	8	503	62				728	104
	8		1		25	13	8	110	2	1	506	52				718	104
	9				24	7	11	90	1	1	368	42				544	79
	10				26	4	5	127		2	358	47				569	76
	11	1			23	4	5	104	1	3	330	44				515	70
	12				23	6	5	125	2	1	492	57				711	118
	合計	1	1	1	257	70	75	1,256	14	33	4,860	622			2	7,192	1,030
	前年	4		1	243	53	62	1,081	17	43	4,253	576			1	6,334	1,193
搬送人員	1				21	6	5	114			443	59				648	
	2				21	2	2	109	2	1	375	41				553	
	3				19	3	3	88	2	3	360	60				538	
	4				13	4	7	100	1	3	360	57				545	
	5				22	4	7	104	3	6	379	53				578	
	6			1	18	4	11	82		4	386	52				558	
	7				30	12	7	107	2	8	504	62				732	
	8		1		28	13	8	110	2	1	506	52				721	
	9				24	7	11	90	1	1	368	42				544	
	10				26	4	5	127		2	358	47				569	
	11	1			25	4	5	104	1	3	330	44				517	
	12				23	6	5	125	2	1	492	57				711	
	合計	1	1	1	270	69	76	1,260	16	33	4,861	626				7,214	
	前年	9		1	258	53	63	1,083	18	43	4,255	579				6,362	

市別総括表

救急

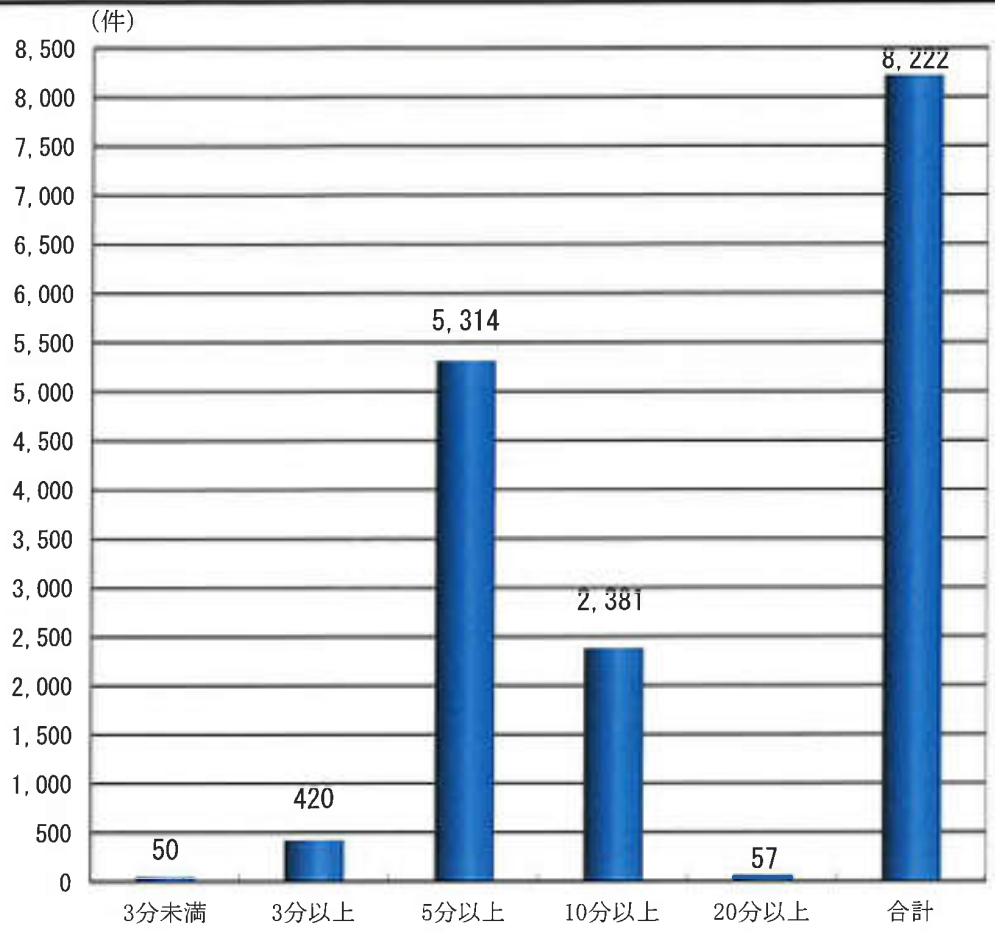
（令和6年中）

市別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院	医師	資器材	その他		
出動件数	宗像市	7	1	2	179	46	64	843	7	30	3,329	433			45	4,986	
	福津市	2		4	126	28	16	605	12	28	2,197	193			19	3,230	
	管外							1			5					6	
	合計	9	1	6	305	74	80	1,449	19	58	5,531	626			64	8,222	
搬送件数	宗像市		1	1	147	43	60	756	6	18	3,003	430			1	4,466	520
	福津市	1			110	26	15	501	8	15	1,853	192			1	2,722	508
	管外							1			3					4	2
	合計	1	1	1	257	69	75	1,258	14	33	4,859	622			2	7,192	1,030
搬送人員	宗像市		1	1	154	43	61	758	9	18	3,005	430			2	4,482	
	福津市	1			116	26	15	501	7	15	1,853	192			2	2,728	
	管外							1			3					4	
	合計	1	1	1	270	69	76	1,260	16	33	4,861	622			4	7,214	

救急自動車による現場到着所要時間別出動件数の状況

救急

（令和6年中）

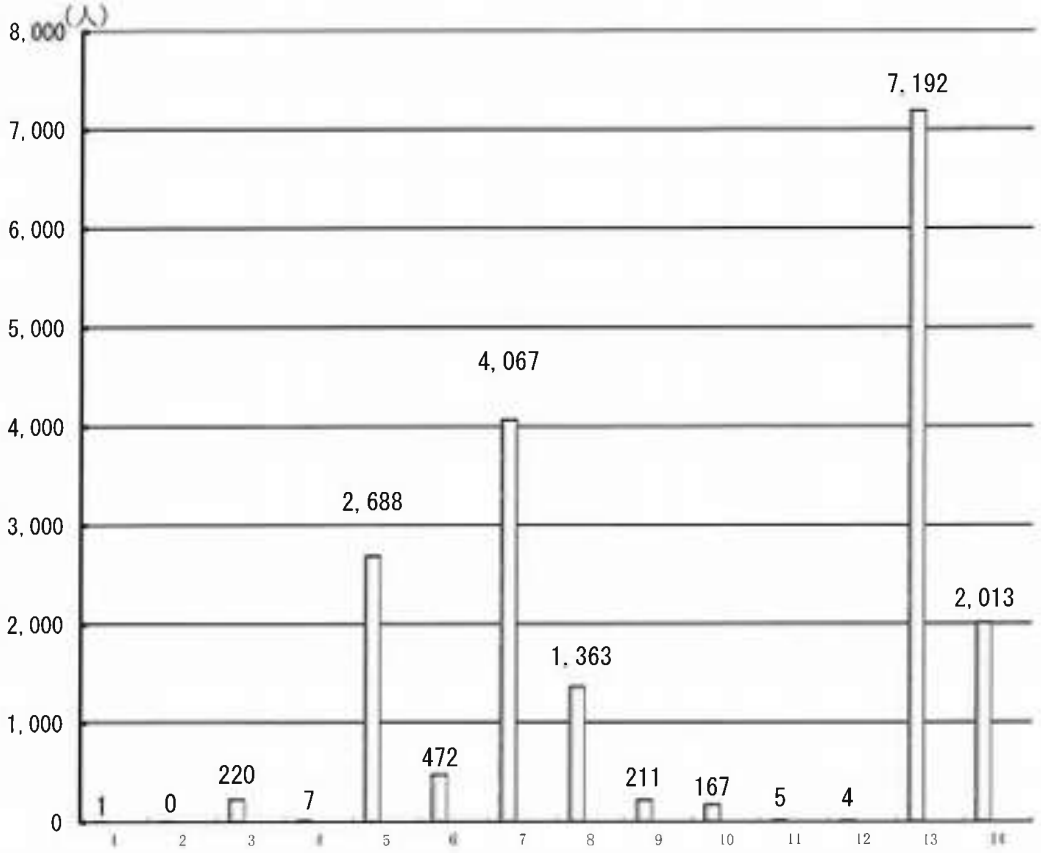


事故種別＼現場到着所要時間	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	計	現場到着平均所要時間（分）
合　計	50	420	5,314	2,381	57	8,222	8.9
急　病	32	220	3,645	1,603	31	5,531	9.0
交通事故	3	16	176	109	1	305	9.5
一般負傷	4	60	956	424	5	1,449	8.9
その他	11	124	537	245	20	937	8.9

（注）1　現場到着所要時間とは、覚知から現場到着までに要した時間をいう。
　　2　上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

医療機関収容所要時間

（令和6年中）



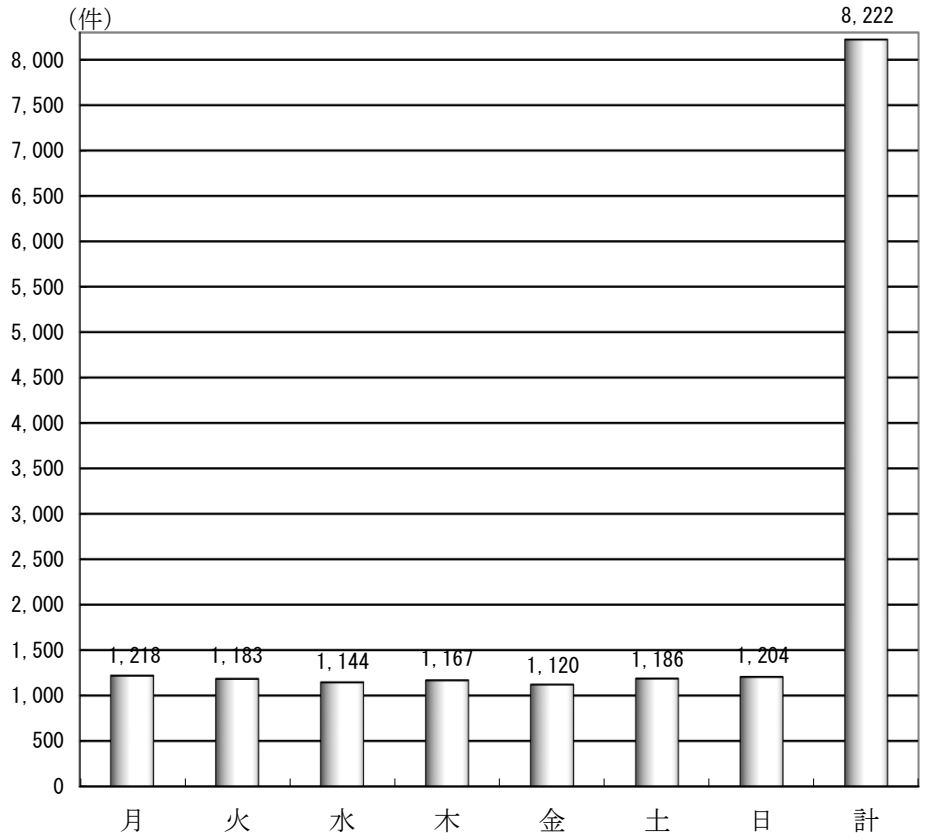
収容所要時間 / 事故種別	10分未満	うち管外	10分以上20分未満	うち管外	20分以上30分未満	うち管外	30分以上60分未満	うち管外	60分以上120分未満	うち管外	120分以上	うち管外	計	うち管外	収容平均所要時間（分）
合　計	1		220	7	2,688	472	4,067	1,363	211	167	5	4	7,192	2,013	34.1
急　病	1		125	2	1,758	265	2,842	884	131	100	2	2	4,859	1,253	34.2
交通事故			14		100	11	134	45	8	7	1	1	257	64	33.9
一般負傷			45		489	52	678	160	46	37			1,258	249	34.9
その他			36	5	341	144	413	274	26	23	2	1	818	447	34.0

（注）1　収容所要時間とは、覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した時間をいう。
　　2　上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

曜日別出動件数

救急

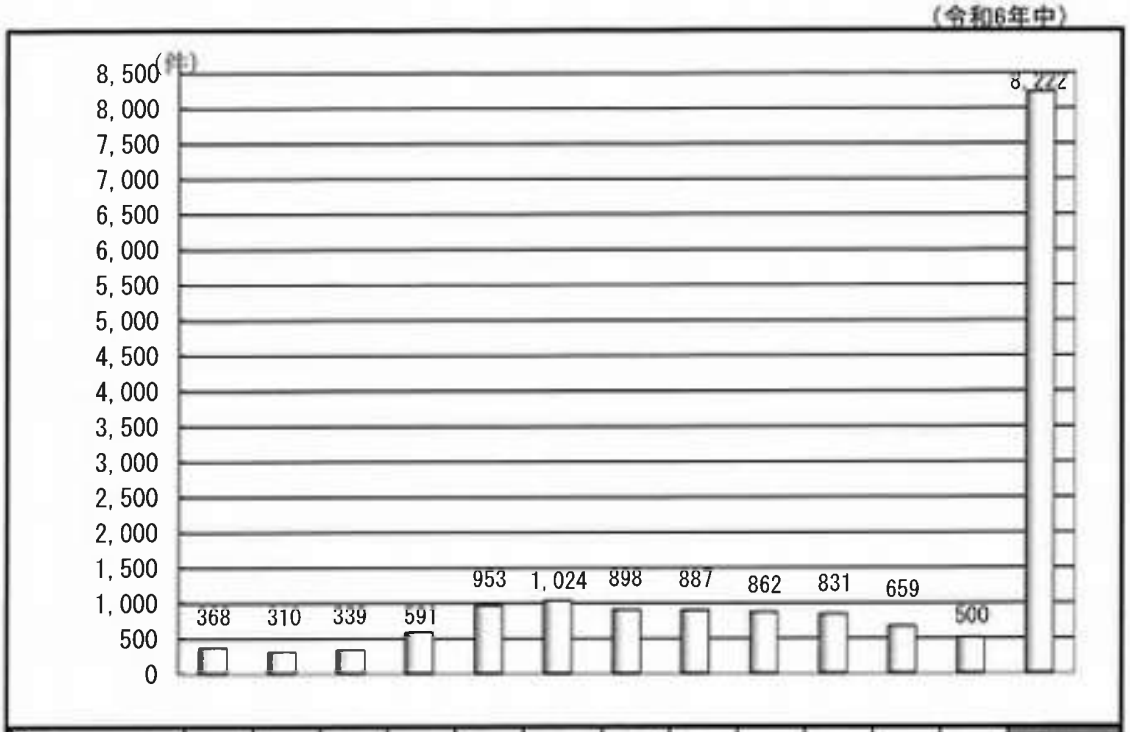
（令和6年中）



曜日 / 事故種別	月	火	水	木	金	土	日	計
合 計	1,218	1,183	1,144	1,167	1,120	1,186	1,204	8,222
火 災	2			1	1	3	2	9
自然災害					1			1
水 難		1			2	3		6
交通事故	33	42	51	42	40	54	43	305
労働災害	13	12	9	15	9	8	8	74
運動競技	9	4	10	7	7	22	21	80
一般負傷	206	206	196	200	195	225	221	1,449
加 害	3	2	3	3	1	6	1	19
自損行為	8	6	6	11	11	5	11	58
急 病	851	815	758	776	724	777	830	5,531
その他	93	95	111	112	129	83	67	690
前 年	1,139	1,040	1,064	972	1,013	1,109	1,190	7,527

時間別出動件数

（令和6年中）

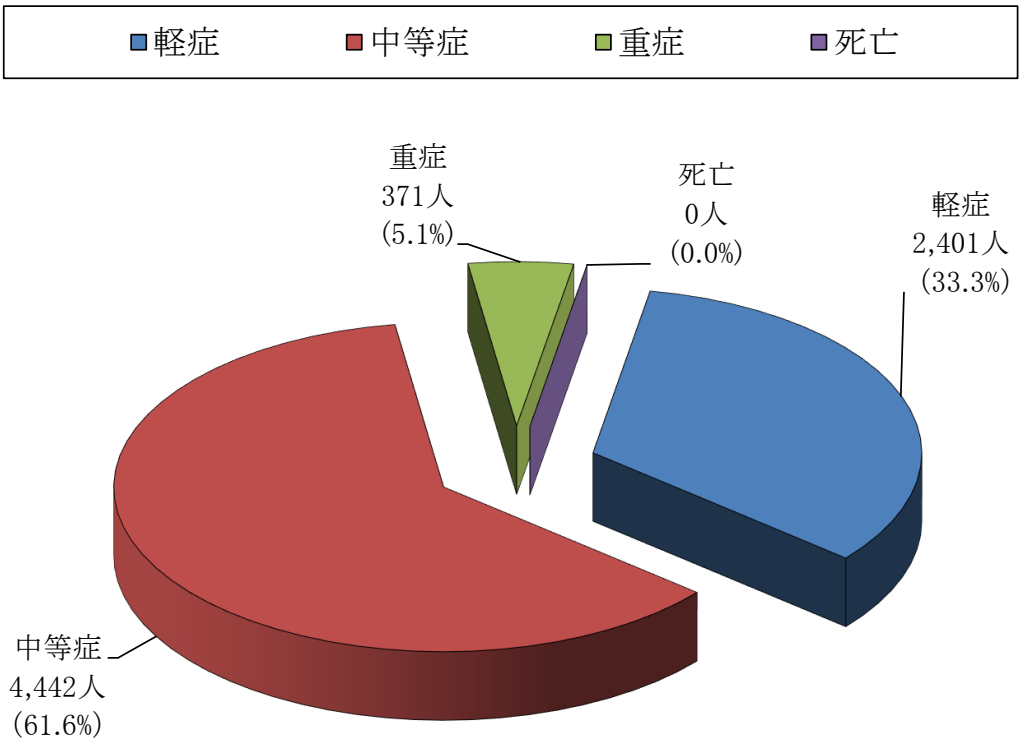


時間別 / 事故種別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
合　計	368	310	339	591	953	1,024	898	887	862	831	659	500	8,222
火　災			1	2		1		1	1	1	2		9
自然災害					1								1
水　難		1				2		1	2				6
交通事故	10	3	3	28	45	28	29	39	58	36	16	10	305
労働災害		1	1	2	8	24	10	13	11	3	1		74
運動競技					8	22	16	15	9	6	4		80
一般負傷	54	41	55	102	190	182	171	169	168	149	100	68	1,449
加　害	5	3				1		1	1	2	4	2	19
自損行為	1	1	2	4	8	3	6	8	4	6	5	10	58
急　病	271	246	256	440	638	624	567	535	514	584	483	373	5,531
その他　転　院	24	11	11	10	50	130	95	94	89	38	41	33	626
その他　医　師													
その他　資器材													
その他　その他	3	3	10	3	5	7	4	11	5	6	3	4	64
前　年	338	261	261	540	874	918	846	784	787	769	658	491	7,527

傷病程度別搬送人員

救急

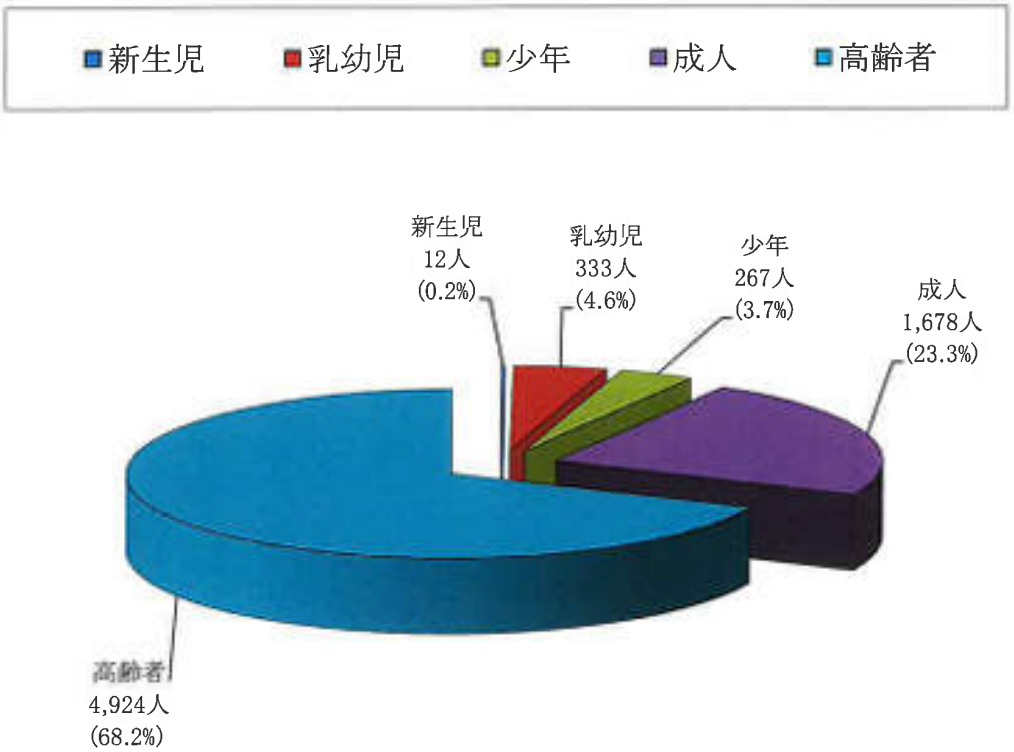
（令和6年中）



事故種別 / 程度別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
合　計	1	1	1	270	69	76	1,260	16	33	4,861	626	7,214
軽　症	1			154	25	54	557	10	13	1,528	59	2,401
中等症		1		112	42	20	672	5	15	3,084	490	4,442
重　症			1	4	2	2	31	1	5	249	77	371
死　亡												

年齢別搬送人員

（令和6年中）



年齢＼事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児（生後28日未満）										2	10	12
乳幼児（生後28日以上7歳未満）				11			63	1		219	39	333
少年（7歳以上18歳未満）				40		64	26		1	123	13	267
成人（18歳以上65歳未満）	1			148	52	11	147	13	22	1,118	166	1,678
高齢者（65歳以上）		1	1	71	17	1	1,024	2	10	3,399	398	4,924
合計	1	1	1	270	69	76	1,260	16	33	4,861	626	7,214

救急隊員が行った応急処置等の状況

救急

（令和6年中）

事故種別 / 処置対象人員 / 処置項目	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
処置対象人員	4,861	270	1,260	823	7,214
止血	16	4	41	11	72
固定	50	74	174	44	342
人工呼吸	29		1	5	35
酸素吸入	1,022	9	61	262	1,354
保温	944	38	177	174	1,333
被覆	9	36	151	26	222
心肺蘇生	125		14	7	146
うち自動式心マッサージ器使用	65		6	3	74
在宅療法	16		2	6	24
ショックパンツ					
血圧測定	4,626	260	1,208	785	6,879
心音・呼吸音聴取	4,771	266	1,216	785	7,038
血中酸素飽和度測定	4,743	270	1,244	813	7,070
心電図測定	4,668	233	1,162	746	6,809
気道確保	194		19	13	226
うち経鼻エアウェイを使用しての気道確保					
うち喉頭鏡・鉗子等による異物除去	9		3		12
うちラリンゲアルマスク等を使用しての気道確保	66		5	3	74
うち気管挿管を使用しての気道確保	2		1		3
除細動	14		1		15
静脈路確保	90	1	7	4	102
薬剤投与	58		5	3	66
その他	4,677	264	1,222	793	6,956

（注）1　1名に付き複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の計の数とは一致しない。

2　上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

急病にかかる疾病分類別搬送人員

救急

（令和6年中）

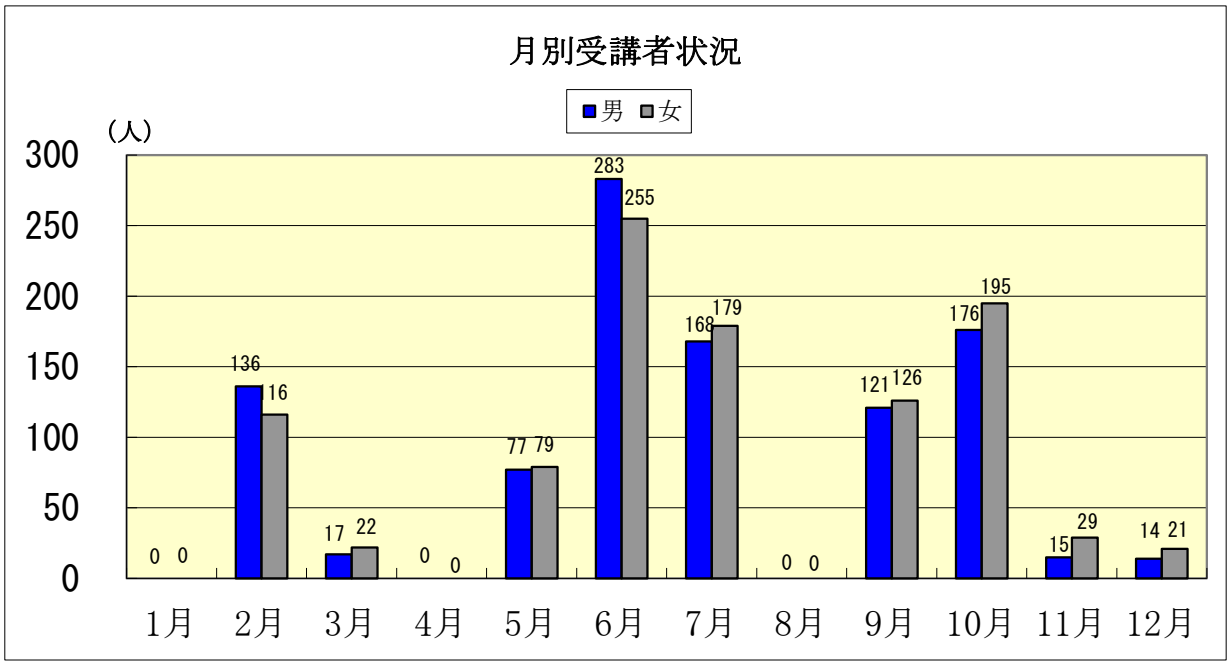
年齢区分 ＼ 疾病分類		脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
新生児	死　亡											
	重　症											
	中等症									1		1
	軽　症										1	1
	小　計									1	1	2
乳幼児	死　亡											
	重　症				1		1			2		4
	中等症			1	5		6	1		49	6	68
	軽　症			1	13	1	2			112	18	147
	小　計			2	19	1	9	1		163	24	219
少年	死　亡											
	重　症	1										1
	中等症			3	5		14			22	19	63
	軽　症			5	7	2	2			20	23	59
	小　計	1		8	12	2	16			42	42	123
成人	死　亡											
	重　症	13	4	1		1			1	22	3	45
	中等症	29	38	51	32	12	26	34	7	129	266	624
	軽　症	3	16	34	32	18	21	12	2	122	189	449
	小　計	45	58	86	64	31	47	46	10	273	458	1,118
高齢者	死　亡											
	重　症	28	24	2	18			2	5	99	21	199
	中等症	181	167	137	270	4	19	33	23	429	1,065	2,328
	軽　症	20	55	53	37	8	18	18	2	223	438	872
	小　計	229	246	192	325	12	37	53	30	751	1,524	3,399
計	死　亡											
	重　症	42	28	3	19	1	1	2	6	123	24	249
	中等症	210	205	192	312	16	65	68	30	630	1,356	3,084
	軽　症	23	71	93	89	29	43	30	4	477	669	1,528
合　計		275	304	288	420	46	109	100	40	1,230	2,049	4,861

（注）年齢区分は新生児（生後28日未満）、乳幼児（生後28日以上7歳未満）、少年（7歳以上18歳未満）、成人（18歳以上65歳未満）、高齢者（65歳以上）を示す。

応急手当普及啓発活動状況

救急

（令和6年中）



月別	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 受講者数						上級救命講習 受講者数						合計	
	男	再講習	女	再講習	合（男・女）	計（再講習）	男	再講習	女	再講習	合（男・女）	計（再講習）	普通・上級	再講習
1月														
2月	136	15	116	14	252	29							252	29
3月	17	7	22	5	39	12							39	12
4月														
5月	77		79		156								156	
6月	283	13	255		538	13							538	13
7月	168	7	179	5	347	12							347	12
8月														
9月	121	6	126	1	247	7							247	7
10月	176		195		371								371	
11月	15	5	29	9	44	14							44	14
12月			10	6	10	6	14	2	11	1	25	3	35	9
小計	993	53	1,011	40	2,004	93							2,029	96
合計	2004(93)						25(3)						2029(96)	
累計	74,797(9,134)						2,740(232)						77,537(9,366)	

※ 令和6年中の救命講習 受講者総数 2,029人
　うち普通救命講習 受講者数 2,004人
　うち上級救命講習 受講者数 25人

※ 令和6年12月31日現在の救命講習 受講者総数 77,537人
　うち普通救命講習 受講者数 74,797人
　うち上級救命講習 受講者数 2,740人

※ 令和6年中の応急手当普及員講習 受講者数 50人
※ 令和6年中の救急講習回数～43回 受講者数～1,869人

消防隊による救急活動状況

消防隊による救急活動件数

（令和6年中）

市別＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
活動件数	宗像市				6	2		8		4	39	17	76
	福津市							1			7		8
	管外												
	合計				6	2		9		4	46	17	84

※ 「消防隊による救急活動」とは、救急隊が現場到着まで10分以上要する場合に消防隊が先行出動し、救急隊に引継ぐまで応急処置等を行うもの。

消防隊による救急支援活動件数

（令和6年中）

市別＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
活動件数	宗像市			1	22	7	2	34	4	12	210	6	298
	福津市				16	2		31	3	7	139	1	199
	管外												
	合計			1	38	9	2	65	7	19	349	7	497

※ 「消防隊による救急支援活動」とは、救急隊単隊では搬送困難な場合や救急活動に際し危険がある場合に救急隊と同時出動し、搬送支援または現場安全確保にあたるもの。

令和6年中の救助概況

令和6年中における救助活動の状況は、救助出動件数は90件（前年比3件増）、救助活動件数は62件（前年比7件増）、救助人員は64人（前年比5人増）であり、前年と比較して、救助出動件数、救助活動件数及び救助人員はいずれも増加している。（下表参照）

救助出動、救助活動件数及び救助人員の推移

区分 / 年	救助出動件数		救助活動件数		救助人員	
	件数（件）	対前年増減率（%）	件数（件）	対前年増減率（%）	人員（人）	対前年増減率（%）
令和２年	67	▲１５．１	44	▲１３．７	40	▲１４．９
令和３年	59	▲１１．９	26	▲４０．９	29	▲２７．５
令和４年	86	45.8	54	107.7	47	62.1
令和５年	87	1.2	55	1.9	59	25.5
令和６年	90	3.4	62	12.7	64	8.5

救助出動件数90件を、事故種別ごとにみると最も多いのは、「建物等による事故」37件で、全体の（41.1%）を占めている。次に「その他の事故」26件（28.9%）、「交通事故」21件（23.3%）、「水難事故」5件（5.6%）、「ガス及び酸欠事故」1件（1.1%）となっている。

救助活動件数62件を、事故種別ごとにみると最も多いのは、「建物等による事故」27件で、全体の（43.5%）を占めている。次に「その他の事故」20件（32.3%）、「交通事故」13件（21.0%）、「水難事故」2件（3.2%）、となっている。

救助人員64人を、事故種別ごとにみると最も多いのは、「建物等による事故」25人で、全体の（39.1%）を占めている。次に「その他の事故」21人（32.8%）、「交通事故」16人（25%）、「水難事故」2人（3.1%）となっている。

※「その他の事故」とは、火災、交通事故、水難事故、風水害等自然災害事故、機械による事故、建物等による事故、ガス及び酸欠事故及び破裂事故以外の事故で消防機関による救助を必要としたものをいう。

管内総括表

（令和6年中）

区分＼事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故ガス及び	破裂事故	その他の事故	合計	前年
出動件数（件）		21	5			37	1		26	90	87
活動件数（件）		13	2			27			20	62	55
救助人員（人）		16	2			25			21	64	59
活動人員（人）		152	29			179			205	565	461
活動車両台数(台)		54	10			55			65	184	149

主な救助活動

（令和6年中）

発生月日	発生場所	事故種別	事故内容	出動状況		活動状況		救助人員
				人員	台数	人員	台数	
1月16日	宗像市	交通事故	車同士の事故に警備員が巻き込まれたとの通報により救助出動したもの。 現場到着時、2トントラックの車内に男性1名が閉じ込められており、負傷者は要救助者を含めて3名であった。 内2名は宗像消防署救急小隊及び津・玄救急警防小隊により観察及び処置が実施されており、車内の男性1名は、運転席側及び助手席側のドアが開放不可であったため、運転席側ドアをカッター及びスプレッターにて開放し、用手にて介添えで救出した。	14	5	14	5	1
2月28日	宗像市	水難事故	川の中に人が沈んでいるとの通報により、救助出動したもの。 現場到着時、要救助者は河川で溺水状態であり、要救助者に接触し、観察した結果ＣＰＡ状態及び全身の硬直を確認した。 スノーボードに収容し、クレーンにて救出した。	14	5	12	4	1
6月19日	宗像市	交通事故	20t牽引自動車と普通乗用車の交通事故により、普通乗用車に4名が閉じ込められているとの通報により出動したもの。 普通乗用車は助手席側が大破し車内に3名の要救助者を認め運転手は自力で車外に脱出していた。 普通乗用車の前方及び後方のドアをスプレッター及びカッターにて開放し、要救助者3名をバッグボードにて車外に救出した。	26	9	26	9	3
8月14日	福津市	その他（山岳）	福津市八並許斐山の中腹付近にて上肢の痺れ、腹痛及び嘔吐を訴えているとの通報により救助出動したもの。 登山開始5分で要救助者に接触、観察実施後、要救助者をバーティカルストレッチャーに収容し、徒手搬送で下山したのち、救急車に収容した。	15	5	15	5	1

市別救助出動件数

（令和6年中）

市別 ＼ 事故種別		火災	交通事故	水難事故	自然災害風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故ガス及び	破裂事故	その他の事故	計
出動件数	宗像市		13	2			26	1		18	60
	福津市		8	3			11			8	30
	管外										
	合計		21	5			37	1		26	90

市別 ＼ 事故種別		火災	交通事故	水難事故	自然災害風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故ガス及び	破裂事故	その他の事故	計
活動件数	宗像市		9	2			21			14	46
	福津市		4				6			6	16
	管外										
	合計		13	2			27			20	62

市別 ＼ 事故種別		火災	交通事故	水難事故	自然災害風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故ガス及び	破裂事故	その他の事故	計
救助人員	宗像市		12	2			20			14	48
	福津市		4				5			7	16
	管外										
	合計		16	2			25			21	64

月別救助出動件数

（令和6年中）

月別 ＼ 事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害風水害等	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故ガス及び	破裂事故	その他の事故	計	前年
合計		21	5			37	1		26	90	87
1月		4	1			5			1	11	10
2月		4	1			6			4	15	9
3月			1			1			1	3	4
4月						1			4	5	7
5月			1			2			1	4	1
6月		3	1			4			2	10	4
7月		4				2			4	10	7
8月		1				4			3	8	9
9月						6			2	8	6
10月						1			2	3	10
11月						3			1	4	10
12月		5				2	1		1	9	10

過去10年の119番通報件数

年別	災害等別／回線種別	火災	救急	救助	火災救急救助以外の災害	いたずら	間違い通報	その他	合計
2015年中	固定電話	16	1,775	4	14	9	301	997	3,116
	IP電話	12	1,728	1	17	0	117	394	2,269
	携帯電話	40	2,127	26	45	4	395	840	3,477
	合計	68	5,630	31	76	13	813	2,231	8,862
2016年中	固定電話	4	1,726	1	16	10	194	1,056	3,007
	IP電話	6	1,716	5	6	0	74	421	2,228
	携帯電話	37	2,450	25	47	1	379	799	3,738
	合計	47	5,892	31	69	11	647	2,276	8,973
2017年中	固定電話	7	1,674	3	14	13	246	990	2,947
	IP電話	12	1,814	2	8	0	93	447	2,376
	携帯電話	44	2,829	28	64	4	503	883	4,355
	合計	63	6,317	33	86	17	842	2,320	9,678
2018年中	固定電話	6	1,713	5	33	32	236	804	2,829
	IP電話	8	1,860	6	13	3	39	337	2,266
	携帯電話	60	3,154	49	83	4	221	787	4,358
	合計	74	6,727	60	129	39	496	1,928	9,453
2019年中	固定電話	14	1,453	9	23	50	137	711	2,397
	IP電話	13	1,890	5	17	4	36	333	2,298
	携帯電話	105	3,256	54	96	11	158	949	4,629
	合計	132	6,599	68	136	65	331	1,993	9,324
2020年中	固定電話	16	1,125	5	49	28	91	559	1,873
	IP電話	10	1,701	5	9	0	54	263	2,042
	携帯電話	73	3,035	42	92	2	171	927	4,342
	合計	99	5,861	52	150	30	316	1,749	8,257
2021年中	固定電話	7	1,031	2	37	16	91	523	1,707
	IP電話	10	1,766	6	9	1	34	279	2,105
	携帯電話	84	3,560	42	63	7	163	927	4,846
	合計	101	6,357	50	109	24	288	1,729	8,658
2022年中	固定電話	18	1,090	0	66	16	64	536	1,790
	IP電話	21	1,953	2	19	2	43	288	2,328
	携帯電話	122	4,477	79	150	5	208	984	6,025
	合計	161	7,520	81	235	23	315	1,808	10,143
2023年中	固定電話	5	900	6	83	16	90	573	1,673
	IP電話	14	1,872	1	15	0	30	260	2,192
	携帯電話	107	4,766	64	111	20	331	1,406	6,805
	合計	126	7,538	71	209	36	451	2,239	10,670
2024年中	固定電話	1	967	3	72	5	61	592	1,701
	IP電話	2	1,964	9	9	0	19	264	2,267
	携帯電話	64	5,266	74	130	2	232	1,217	6,985
	合計	67	8,197	86	211	7	312	2,073	10,953

消防団の活動

消防団は、郷土愛の精神と自らの郷土は、自らが守るという自主防災意識の高い人々により組織され、地域住民の尊い生命、財産を火災や台風・洪水などの災害から守るため日夜活躍しています。

勇 気

宗 像 市 消 防 団

福 津 市 消 防 団

団 結

迅 速

令 和 6 年 度 主 な 活 動

- 福津市消防団機関員訓練（5月）
- 宗像市消防団全団員訓練（5月）
- 宗像地区合同水防訓練（6月）
- 宗像市合同分団訓練（6～1月）
- 宗像市消防団中継訓練（10月）
- 秋季火災予防週間防火啓発パレード（11月）
- 福津市消防団・署火災防ぎょ訓練（11月）
- 宗像市消防団ブラインド訓練（11月）
- 年末夜警（12月）
- 宗像地区消防出初式（1月）
- 文化財防ぎょ訓練（1月）
- 団・署合同林野火災防ぎょ訓練（3月）

6月

宗像地区合同水防訓練

5月

福津市消防団機関員訓練

11月

宗像市消防団ブラインド訓練

1月

宗像地区消防出初式

消防団の組織

（令和7年4月1日現在）

・宗像市消防団
団長　松本　真誠

分団名	区域	実員
本部分団	宗像市全域	22人 ※
第1分団	吉武地区	34人
第2分団	赤間地区	33人
第3分団	田久・土穴地区	27人
第4分団	自由ヶ丘地区	23人
第5分団	河東・赤間西地区	43人
第6分団	南郷（南部）地区	29人
第7分団	南郷（北部）地区	29人
第8分団	東郷地区	29人
第9分団	田熊・用山・村山田地区	31人
第10分団	日の里地区	26人
第11分団	田島地区	30人
第12分団	神湊地区	49人
第13分団	池野地区	28人
第14分団	岬地区	23人
第15分団	大島一円	28人
第16分団	大島一円	29人
宗像市・県総合庁舎合同分団	宗像市全域	25人

団長
副団長
副団長

※本部分団には、団長、副団長及び女性班を含む。

消防団の組織

（令和7年4月1日現在）

・福津市消防団

団長　水上　雅博

分団名	区域	実員
本部分団	福津市全域	11人 ※
第1分団	津屋崎地区各区・渡区の区域	31人
第2分団	宮司地区各区・在自区、宮司ヶ丘地区、五反田区、星ヶ丘区の区域	22人
第3分団	須多田区、大石区・生家区、塩浜区、梅津区の区	19人
第4分団	奴山区、桂区、西東区、勝浦浜区、勝浦松原区の区域	15人
第5分団	四角区、両谷区、光陽台1区・2区・3区・南区、日蒔野1～6区の区域	27人
第6分団	緑町、南町、本町区、昭和区、西福間1区、大和1区・2区、古町区、福間松原区、福間5区、日蒔野1～6区の区域	24人
第7分団	花見1区・2区・3区・4区、原町1区・2区・3区、有弥の里1区・2区、日蒔野1～6区の区域	17人
第8分団	手光区、通り堂区、光陽台4区・5区・6区、小竹区、冠区、東福間1～11区、高平区の区域	12人
第9分団	津丸区、久末区、若木台1～6区、桜川区、あけぼの区、八波区の区域	18人
第10分団	上西郷区、内殿区、舎利蔵区、日蒔野1～6区の区域	18人
第11分団	畦町区、本木区の区域	16人
第12分団	福間沿岸	0人
第13分団	津屋崎沿岸	19人

団長

副団長

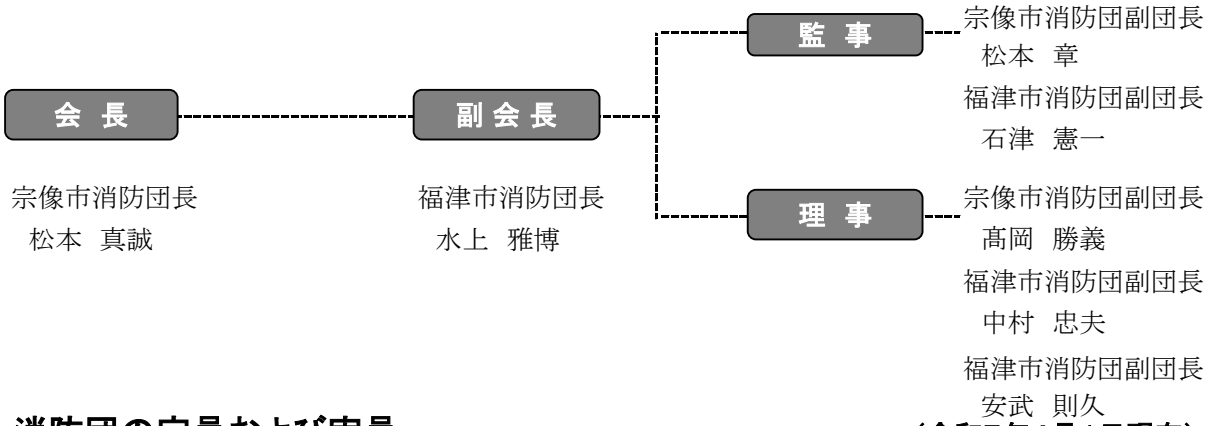
副団長

副団長

※本部分団には、団長、副団長及び女性班を含む。

福岡県消防協会
宗像地区連絡協議会の組織

（令和7年4月1日現在）



消防団の定員および実員

（令和7年4月1日現在）

団員＼市別	宗像市	福津市	計
定員	634	362	996
実員	538	249	787

消防団の出動状況

（令和6年中）

市別＼区分	火災件数	消防機械出動件数	出動延人員
宗像市	21	18	475
福津市	13	8	244
合計	34	26	719

消防ポンプ車等の装備状況

（令和7年4月1日現在）

市別＼区分	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	計
宗像市	16	0	6	22
福津市	12	0	8	20
合計	28	0	14	42

令和6年度　更新車両
高規格救急自動車